

登別市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

～目次～

- 1 新制度「教育・保育の確保策と認定こども園に関する基本的な考え方」
の実施状況について … 1ページ
- 2 基本目標における実施状況について … 12ページ
- 3 質問書 … 48ページ

新制度「教育・保育の確保策と認定こども園に関する基本的な考え方」

主要施策	新制度「教育・保育の確保策と認定こども園に関する基本的な考え方」
成果	<p>保育所及び幼稚園においては、あらたに認定こども園が開設され、2号認定の子どもの受入が可能となったほか、平成30年度までは待機児童が発生せず提供体制が確保されていた。しかし、平成31年度では利用定員枠は確保しているものの保育士不足により利用定員枠上限まで受け入れることができず、待機児童が生じていることから、保育士確保のための取り組みを推進していく必要がある。</p> <p>その他の子育て支援事業においては、子育て支援センターの新規開設やショートステイの委託先の拡充等を行い、十分な提供体制が確保されていた。</p>
体系図	<p>新制度「教育・保育の確保策と認定こども園に関する基本的な考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育・保育の量の見込みと確保策 <ul style="list-style-type: none"> 1号認定・2号認定・3号認定 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保策 <ul style="list-style-type: none"> ①利用者支援事業 ②地域子育て支援拠点事業 ③妊婦健診事業 ④乳児家庭全戸訪問事業 ⑤養育支援訪問事業 ⑥子育て短期支援事業(ショートステイ) ⑦ファミリー・サポート・センター事業 ⑧一時預かり事業 ⑨延長保育事業 ⑩病児・病後児保育事業 ⑪放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ) ⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業

□各確保策の取組及び成果

(1)教育・保育の量の見込みと確保策

①1号認定(3歳以上、幼稚園を利用希望)

単位:人(定員数)

	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①必要利用定員総数	581	556	536	544	543	528	504
②現状の認可定員数等	685	685	685	685	685	685	685
幼稚園	685	685	685	685	685	685	685
③過不足(②-①)	104	129	149	141	142	157	181
④確保策	685	685	685	685	685	535	535
教育・保育施設(認定こども園、幼稚園、保育所)	0	0	0	0	0	210	210
確認を受けない幼稚園	685	685	685	685	685	325	325
⑤過不足(④-①)	104	129	149	141	142	7	31
⑥確保の実績	685	685	685	685	685	685	685
⑦利用実績	581	556	543	543	494	478	433
⑧過不足(⑥-⑦)	104	129	142	142	191	207	252

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

利用実績に対し、確保実績は上回っていることから、提供体制は十分確保されていると認識している。

②2号認定(3歳以上、教育を希望)

単位:人(定員数)

	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①必要利用定員総数	0	0	139	139	141	137	131
②現状の認可定員数等	0	0	0	0	0	0	0
保育所	0	0	0	0	0	0	0
③過不足(②-①)	0	0	-139	-139	-141	-137	-131
④確保策	0	0	0	0	0	0	0
教育・保育施設(認定こども園、幼稚園、保育所)	0	0	0	0	0	0	0
⑤過不足(④-①)	0	0	-139	-139	-141	-137	-131
⑥確保の実績	0	0	0	0	40	40	40
⑦利用実績	0	0	0	0	34	42	40
⑧過不足(⑥-⑦)	0	0	0	0	6	-2	0

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

平成29年度に市内に2箇所、認定こども園が開設され2号認定子どもの受入が可能となった。平成30年度は、利用実績に対し利用定員確保の実績は下回っているが、認可定員の範囲内で、利用希望者を受け入れることができた。令和元年10月からの幼児教育・保育の無償化に伴い、2号認定で教育を希望する保護者が増加したことから、認定こども園における2号認定利用定員の拡大の検討が必要と認識している。

③2号認定(3歳以上、保育所を利用希望)

単位:人(定員数)

	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①必要利用定員総数	285	276	249	253	252	246	234
②現状の認可定員数等	363	363	363	363	363	363	363
保育所	363	363	363	363	363	363	363
③過不足(②-①)	78	87	114	110	111	117	129
④確保策	363	363	363	363	363	251	251
教育・保育施設(認定こども園、幼稚園、保育所)	363	78	363	363	363	251	251
⑤過不足(④-①)	78	87	114	110	111	5	17
⑥確保の実績			363	346	328	291	307
⑦利用実績			0	269	258	237	241
⑧過不足(⑥-⑦)	0	0	363	77	70	54	66

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

利用実績に対し、確保実績は上回っており、各年度の4月1日及び10月1日時点において待機児童は生じていないことから、提供体制は十分確保されていると認識している。

④3号認定(0歳、保育所を利用希望)

単位:人(定員数)

	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①必要利用定員総数	15	12	31	30	29	29	28
②現状の認可定員数等	41	41	41	41	41	41	41
保育所	36	36	36	36	36	36	36
③過不足(②-①)	26	29	10	11	12	12	13
④確保策	41	41	41	41	41	41	41
教育・保育施設(認定こども園、幼稚園、保育所)	36	36	36	36	36	36	36
⑤過不足(④-①)	26	29	10	11	12	12	13
⑥確保の実績			36	49	44	31	35
⑦利用実績				18	31	16	19
⑧過不足(⑥-⑦)	0	0	36	31	13	15	16

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

平成30年度までは、利用実績に対し確保実績は上回っており、各年度の4月1日時点においては待機児童が生じていなかったことから、年度当初においては提供体制は整っていたと認識している。平成31年度は、利用定員枠は確保しているものの保育士不足により利用定員枠上限まで受け入れることができず、4月1日時点において9名の待機児童が生じた。このことを受けて保育士確保のための取り組みを推進していく必要があると認識している。

⑤3号認定(1・2歳、保育所を利用希望)

単位:人(定員数)

	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①必要利用定員総数	138	113	216	203	197	194	190
②現状の認可定員数等	167	167	167	167	167	167	167
保育所	141	141	141	141	141	141	141
③過不足(②-①)	29	54	-49	-36	-30	-27	-23
④確保策	167	167	167	167	167	239	239
教育・保育施設(認定こども園、幼稚園、保育所)	141	141	141	141	141	213	213
⑤過不足(④-①)	29	54	-49	-36	-30	45	49
⑥確保の実績			141	244	236	219	198
⑦利用実績				169	166	187	169
⑧過不足(⑥-⑦)	0	0	141	75	70	32	29

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

平成30年度までは、利用実績に対し確保実績は上回っており、各年度の4月1日時点においては待機児童が生じていなかったことから、年度当初においては提供体制は整っていたと認識している。平成31年度は、利用定員枠は確保しているものの保育士不足により利用定員枠上限まで受け入れることができず、4月1日時点において28名の待機児童が生じた。このことを受けて保育士確保のための取り組みを推進していく必要があると認識している。

(2)地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保策

①利用支援事業【新規】

単位:か所(設置個所数)

	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	0	0	1	1	1	1	1
②確保の内容	0	0	1	1	1	1	1
③過不足(②-①)	0	0	0	0	0	0	0
④利用実績	0	0	0	0	0	0	0
⑤確保の実績	0	0	0	0	0	0	0
⑥過不足(④-⑤)	0	0	0	0	0	0	0

【事業概要に対する取組及び成果】

利用支援事業の実施要件である専門研修を受講した人員はの配置していないが、地域の子育て支援拠点において、子育て支援等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行っている。また、必要に応じて関係機関と連携を行っている。

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

平成27年度から、子ども・子育て支援に関する相談、情報提供、利用者援助等の支援を行う窓口を市役所に設置することを想定していたが、地域子育て支援拠点事業において、同様の取り組みを実施している。

②地域子育て支援拠点事業

単位：人回／月（1月あたりの利用回数）

	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	1,722	1,950	2,063	2,163	2,293	2,421	2,562
②確保の内容	1,722	1,950	2,063	2,163	2,293	2,421	2,562
③過不足(②-①)	0	0	0	0	0	0	0
④利用実績			1,421	1,460	1,445	1,823	1,436
⑤確保の実績			1,421	1,460	1,445	1,823	1,436
⑥過不足(④-⑤)	0	0	0	0	0	0	0

【事業概要に対する取組及び成果】

子育て支援センターや子育てひろばを拠点として、あそびの広場や子育て講座等を開催し、子育て親子の交流を促進するとともに、育児相談や援助、子育てに関する情報提供等により子育て支援を行った。

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

平成30年度に鷺別子育て支援センターを開設し、子育て支援センター3箇所、子育てひろば1箇所の計4箇所で地域子育て拠点事業を実施した。
地域子育て支援拠点が鷺別地区、富岸地区、中央地区、登別地区となったことから、提供体制は整ったと認識している。

③妊婦健診事業

単位:人(1年あたりの受診者数)

定員児童数	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み			4,010	3,900	4,010	4,007	3,608
②確保の内容			4,010	3,900	4,010	4,007	3,608
③過不足(②-①)			0	0	0	0	0
④利用実績			3,928	3,948	3,552	3,333	1,685
⑤確保の実績			3,928	3,948	3,552	3,333	1,685
⑥過不足(④-⑤)			0	0	0	0	0

【事業概要に対する取組及び成果】

母子保健法第13条に基づき、妊婦及び胎児の健康増進、妊婦の生活習慣改善を目的として健康診査を行う事業である。

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

- 妊婦健康診査費用の一部を助成している。
- 妊婦一般健康診査:1人あたり14回、超音波検査:1人あたり4回
- 今後もすべての妊婦に対し現行通り実施する。

④乳児家庭全戸訪問事業

単位:人(1年あたりの訪問者数)

定員児童数	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み			310	320	300	280	280
②確保の内容			310	320	300	280	280
③過不足(②-①)			0	0	0	0	0
④利用実績			327	316	284	263	131
⑤確保の実績			327	316	284	263	131
⑥過不足(④-⑤)			0	0	0	0	0

【事業概要に対する取組及び成果】

生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、乳児及びその保護者の心身の状況並びに養育環境の把握を行い、子育てに関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対して適切なサービスの提供に結びつける事業である。

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

- 乳児のいる家庭に保健師等が訪問し、子育て支援に関する情報の提供、養育環境の把握、養育についての相談や助言を行っている。
- すべての乳児のいる家庭を対象として、実施率100%を目指す。

⑤ 養育支援訪問事業

単位：人（1年あたりの利用者数）

定員児童数	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 量の見込み			140	60	60	85	100
② 確保の内容			140	60	60	85	100
③ 過不足(②-①)			0	0	0	0	0
④ 利用実績			70	67	89	118	24
⑤ 確保の実績			70	67	89	118	24
⑥ 過不足(④-⑤)			0	0	0	0	0

【事業概要に対する取組及び成果】

乳幼児全戸訪問事業等で把握し、養育支援が必要と認められた方に対し、家庭訪問を実施し育児等に関する相談・支援を行う。

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

養育を支援することが特に必要と認められる家庭に対し、家庭訪問を実施し、各関係機関と連携を図って必要な支援を行っていく。

⑥ 子育て短期支援事業(ショートステイ)

単位：人日／年（1年あたりの利用回数）

	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 量の見込み	0	0	1	1	1	1	1
② 確保の内容	0	0	1	1	1	1	1
③ 過不足(②-①)	0	0	0	0	0	0	0
④ 利用実績			0	2	1	0	1
⑤ 確保の実績			0	2	1	0	1
⑥ 過不足(④-⑤)	0	0	0	0	0	0	0

【事業概要に対する取組及び成果】

保護者の病気などにより児童の養育が一時的に困難になった家庭の児童を一定の期間、児童養護施設等で養育した。

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

従前より児童養護施設わかすぎ学園(空蘭市)に事業を委託していたが、施設に空きがなく、受け入れできないことがあったことから、令和元年度より登別市内の里親宅2世帯にも事業を委託し、委託先を拡大して事業を実施しており、提供体制は確保されている。

⑦ファミリー・サポート・センター事業

単位：人日／年（1年あたりの利用回数）

	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	1,814	1,890	1,972	1,962	1,999	2,050	2,070
②確保の内容	1,814	1,890	1,972	1,962	1,999	2,050	2,070
③過不足(②-①)	0	0	0	0	0	0	0
④利用実績	-	-	1,421	2,145	2,042	1,788	942
⑤確保の実績	-	-	1,421	2,145	2,042	1,788	942
⑥過不足(④-⑤)	-	-	0	0	0	0	0

【事業概要に対する取組及び成果】

育児の援助を依頼したい人と協力したい人が会員となり、有償で子どもの預かり等を行うことで、仕事と育児の両立支援を行った。

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

利用回数の増加と同様に会員数も増加しており、提供体制は確保されていると考える。

⑧一時預かり事業

単位:人日/年(1年あたりの利用回数)

	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	12,150	11,804	1,177	15,033	14,998	14,571	13,948
幼稚園	11,011	10,537		13,873	13,854	13,456	12,868
その他	1,139	1,267	1,177	1,160	1,144	1,115	1,080
②確保の内容	12,150	11,804	14,841	15,033	14,998	14,571	13,948
幼稚園	11,011	10,537	13,664	13,873	13,854	13,456	12,868
その他	1,139	1,267	1,177	1,160	1,144	1,115	1,080
③過不足(②-①)	0	0	13,664	0	0	0	0
④利用実績	0	0	7,226	7,027	12,502	13,068	4,073
幼稚園			6,987	6,806	12,372	12,862	3,937
その他(一時保育)			239	221	130	206	136
⑤確保の実績	0	0	7,226	7,027	12,502	13,068	4,073
幼稚園			6,987	6,806	12,372	12,862	3,937
その他(一時保育)			239	221	130	206	136
⑥過不足(④-⑤)	0	0	0	0	0	0	0

【事業概要に対する取組及び成果】

通常の教育時間の前後や長期休業期間中などに、保護者の要望に応じて、一時預かりを行った。

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

幼稚園在園時を対象とした一時預かりについては、市内4か所(私立幼稚園2施設、私立認定こども園2施設)で実施しており、提供体制は確保できていると認識している。
 そのほか、登別保育所において保育所や幼稚園に在籍していない方を対象とした一時保育を実施しており、提供体制は確保できていると認識している。

⑨延長保育事業

単位：人／年（1年あたりの利用人数）

	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	182	183	231	230	231	230	226
②確保の内容	182	183	231	230	231	230	226
③過不足(②-①)	0	0	0	0	0	0	0
④利用実績			194	176	185	175	51
⑤確保の実績			194	176	185	175	51
⑥過不足(④-⑤)	0	0	0	0	0	0	0

【事業概要に対する取組及び成果】

保護者の就労形態の多様化や勤務時間の増加等の保育ニーズに対応し、必要に応じて保育認定を受けた子どもについて、認可保育所や認定こども園等で、通常の保育時間を超えて延長して保育を実施している。

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

現在、市内5箇所の保育所及び2箇所の認定こども園において、通常の保育時間を超えて延長保育を実施しており、提供体制は整っていると認識している。

⑩病児・病後児保育事業

単位：人日／年（1年あたりの利用回数）

	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み			2,646	2,646	2,646	2,646	2,646
②確保の内容			0	0	0	0	0
③過不足(②-①)	0	0	-2,646	-2,646	-2,646	-2,646	-2,646
④利用実績			0	0	0	0	0
⑤確保の実績			0	0	0	0	0
⑥過不足(④-⑤)	0	0	0	0	0	0	0

【事業概要に対する取組及び成果】

病気中もしくは病気の回復期にある児童を、保護者の就労などの理由により家庭内で保育できない場合に、病院・診療所、保育所等に付設された専用スペースで一時的に保育を行う事業である。担い手の確保や環境整備に課題があり、現在市では実施していない。

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

病気中もしくは病気の回復期にある児童を、保護者の就労などの理由により家庭内で保育できない場合に、病院・診療所、保育所等に付設された専用スペースで一時的に保育を行う事業です。担い手の確保や環境整備に課題があり、現在市では実施していない。

⑪放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

単位:人/年(1年あたりの利用人数)

	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	213	226	245	244	245	251	268
②確保の内容	280	280	280	280	280	280	280
③過不足(②-①)	67	54	35	36	35	29	12
④利用実績	—	—	217	220	212	220	214
⑤確保の実績	—	—	280	280	280	320	320
⑥過不足(⑤-④)	—	—	63	60	68	100	106

【事業概要に対する取組及び成果】

保護者が就業等により昼間家庭にいない児童を対象に、放課後の遊びや生活の場を提供し、放課後児童支援員の活動支援のもと、児童の健全育成を図った。
 鷺別児童クラブについては、平成29年度に建替を実施した鷺別児童館内に移転し、児童館と一体的な運営を行っている。

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

・市内7クラブでの受入可能数を280人としていたが、施設の設置基準において児童1人あたりに必要な床面積が1.65㎡と規定されていることから、その基準に基づいて各クラブの定員を算定し、平成30年度より定員を概ね320人とした。
 ・利用者数が定員数を超えておらず、待機児童も発生していないことから、十分な確保体制が整っていたと考える。

⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業

単位:件

	実績	見込み	計画期間				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	0	0	0	0	0	0	0
②確保の内容	0	0	0	0	0	0	0
③過不足(②-①)	0	0	0	0	0	0	0
④利用実績	0	0	0	0	0	0	0
⑤確保の実績	0	0	0	0	0	0	0
⑥過不足(④-⑤)	0	0	0	0	0	0	0

【事業概要に対する取組及び成果】

特定教育・保育施設を利用する低所得で生計が困難な家庭の子どもについて、保育料とは別に実費徴収される費用の一部について給付できる体制を整えた。

【提供体制・確保策に対する取組及び成果】

平成29年度に実施要綱を制定し、特定教育・保育施設を利用する低所得で生計が困難な家庭の子どもについて、保育料とは別に実費徴収される費用の一部について給付する体制を整えたが、対象者はいなかった。

1 地域における子育て支援の充実

基本目標	1 地域における子育て支援の充実
成果	必要なサービスが必要なときに受けられるよう、地域におけるさまざまな子育て支援サービスとその情報提供の充実を図ると共に、子育て家庭と地域社会を結ぶネットワークづくりや子育て支援情報の充実に重点を置き、不安や悩みにも的確に対応できるよう、地域における子育て支援を充実させた。
体系図	<pre> graph LR A[1 地域における子育て支援の充実] --> B["(1) 地域の子育て支援サービスの充実"] A --> C["(2) 子どもの居場所づくり"] B --> B1["① 地域ぐるみの子育て支援"] B --> B2["② 情報提供と相談活動の充実"] B --> B3["③ 教育・保育及び子育て支援事業の充実"] B --> B4["④ 各種経済的支援"] C --> C1["① 放課後子ども総合プランの推進"] C --> C2["② 児童館、公園等の充実"] </pre>

□主要施策に対する取組及び成果

(1) 地域の子育て支援サービスの充実、(2) 子どもの居場所づくり

子育て支援センターやファミリー・サポート・センターなど地域密着型の子育て支援体制の推進を図った。平成30年度には子育て支援センターを併設した鷺別児童館の供用を開始した。
 経済的支援としては、私立幼稚園就園奨励費補助金等により、保護者の保育料負担を支援した。平成29年度からは、多子世帯の保護者負担の軽減を図った。

□施策の方向に関する取組

(1) 地域の子育て支援サービスの充実

① 地域ぐるみの子育て支援

【地域子育て支援拠点事業の推進】

子育て支援センターや子育てひろばを拠点として、あそびの広場や子育て講座等を開催し、子育て親子の交流を促進するとともに、育児相談や援助、子育てに関する情報提供等により子育て支援を推進した。
 また、常設の地域子育て支援拠点がなかった鷺別地区については、地域に向いた地域支援活動として移動子育て支援を実施。平成30年度の鷺別子育て支援センターの開設に伴い、移動子育て支援は終了した。
 令和元年度11月現在の実施箇所は、支援センター3か所、ひろば1か所の計4か所である。
 引き続き、保護者の子育てをサポートするための機能等の充実を図る。
 様々な相談に対応可能な体制づくりのため、関係部署・機関との連携を継続する。

〈実績等〉

- ◎利用延べ人数（中央子育て支援センター）
・H27:5,755人、H28:6,559人、H29:6,376人、H30:5,970人
- ◎利用延べ人数（鷺別子育て支援センター）
・H27:-人、H28:-人、H29:-人、H30:6,956人
- ◎利用延べ人数（登別子育て支援センター）
・H27:3,812人、H28:3,413人、H29:2,795人、H30:2,549人
- ◎利用延べ人数（富岸子育てひろば）
・H27:7,485人、H28:7,552人、H29:8,171人、H30:6,400人
- ◎利用延べ人数合計
・H27:17,052人、H28:17,524人、H29:17,342人、H30:21,875人
- ◎子育て講座参加延べ人数（中央子育て支援センター）
・H27:144人、H28:275人、H29:350人、H30:273人
- ◎子育て講座参加延べ人数（鷺別子育て支援センター）
・H27:-人、H28:-人、H29:-人、H30:161人
- ◎子育て講座参加延べ人数（登別子育て支援センター）
・H27:289人、H28:248人、H29:197人、H30:216人
- ◎子育て講座参加延べ人数（富岸子育てひろば）
・H27:380人、H28:803人、H29:999人、H30:1,165人
- ◎子育て講座参加延べ人数合計
・H27:813人、H28:1,326人、H29:1,546人、H30:1,815人

【子育て支援センター事業の充実】

平成26年度より、中央子育て支援センターに臨床心理士等の資格を持つ「子どもの心と発達相談員」を配置し相談体制を整えた。

引き続き、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安、悩みを相談できる場の充実を進める。

〈実績等〉

- ◎利用延べ人数（中央子育て支援センター）
・H27:5,755人、H28:6,559人、H29:6,376人、H30:5,970人
- ◎利用延べ人数（鷺別子育て支援センター）
・H27:-人、H28:-人、H29:-人、H30:6,956人
- ◎利用延べ人数（登別子育て支援センター）
・H27:3,812人、H28:3,413人、H29:2,795人、H30:2,549人
- ◎利用延べ人数合計
・H27:9,567人、H28:9,972人、H29:9,171人、H30:15,475人
- ◎育児相談利用延べ人数（中央子育て支援センター）
・H27:144人、H28:275人、H29:350人、H30:273人
- ◎育児相談利用延べ人数（鷺別子育て支援センター）
・H27:-人、H28:-人、H29:-人、H30:161人
- ◎育児相談利用延べ人数（登別子育て支援センター）
・H27:126人、H28:98人、H29:64人、H30:65人

【ファミリー・サポート・センター事業の充実】

子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と援助をしたい人（提供会員）の双方が会員となり、依頼会員が残業や急用などのとき、提供会員の自宅での子どもの預かりや送迎などを行い子育て支援の充実を図った。

平成30年度末現在会員数 1,239人

〈実績等〉

- ◎総利用件数
・H27:2,678件、H28:2,533件、H29:2,648件、H30:2,731件

【産後子育てママ派遣事業の実施】

出産後のお母さんの体力が回復するまでの間、育児や家事の支援を必要とする家庭に対し、ヘルパーが訪問してお母さんや生まれたお子さんの身の回りの世話などを行い、お母さんが安心して日常生活を営むことができるよう支援した。平成30年度の利用者数は、1件である。

〈実績等〉

◎利用者数

・H27:1件、H28:0件、H29:1件、H30:1件

【子育てサポーターと地域ボランティアの育成】

地域の子育て支援や相談体制の充実を図るため、地域の子育て支援事業を推進する子育てサポーターや地域ボランティアの発掘・育成に努めた。

美園・若草・鷺別地区でせわずき・せわやき隊が活動している。

【子育てサークルへの支援と連携】

親子交流を行っている子育てサークルの取り組みなどに対する支援や連携を行った。

現在子育て団体は2団体あり、各団体年6回程度の支援を行っている。

今後もサークル活動の支援を行う。

〈実績等〉

◎利用延べ人数（中央子育て支援センター）

・H27:5,755人、H28:6,559人、H29:6,376人、H30:5,970人

◎利用延べ人数（鷺別子育て支援センター）

・H27:-人、H28:-人、H29:-人、H30:6,956人

◎利用延べ人数合計

・H27:5,755人、H28:6,559人、H29:6,376人、H30:12,926人

◎育児サークルの育成・支援利用延べ人数（中央子育て支援センター）

・H27:174人、H28:201人、H29:108人、H30:93人

◎育児サークルの育成・支援利用延べ人数（鷺別子育て支援センター）

・H27:-人、H28:-人、H29:-人、H30:30人

【ふれあい子育てサロンの実施】

登別市社会福祉協議会が中心となり、子育て中の親子が、居住する地域において気軽に集まることができ、子どもを自由に遊ばせることのできる場を設け、日頃の悩みなどを話せる仲間づくりや親同士・地域との交流を支援した。平成30年度末現在、3か所で実施している。

〈実績等〉

◎延べ参加人数

・幌別西地区 H27:1,228人、H28:1,091人、H29:1,208人、H30:419人（H30年度で活動終了）

・幌別地区 H27:479人、H28:339人、H29:557人、H30:531人

・青葉地区 H27:198人、H28:141人、H29:172人、H30:280人

・鷺別地区 H27:469人、H28:281人、H29:254人、H30:135人

②情報提供と相談活動の充実

【利用者支援事業の充実】

平成27年度から、子ども・子育て支援に関する相談、情報提供、利用者援助等の支援を行う窓口を市役所に設置することを想定していたが、地域子育て支援拠点事業において、同様の取り組みを実施しており、引き続き事業の充実を図る。

【子育て支援情報の提供】

各種の子育て支援サービス等が、利用者に十分周知されるよう関係機関・民間施設等の協力を得て、ホームページ、メールによる配信、パンフレットや子育て支援拠点ガイドブック、子育て情報誌など、様々な形で情報提供の充実を図った。

今後も引き続き、情報提供の充実を図っていく。

【幼児教育等に関する情報提供等の促進】

各幼稚園で、保護者等から日頃の幼児教育に関する不安や悩みなどの相談に対し、相談や情報提供を速やかに受け入れられるような体制づくりの促進を図った。
随時、各幼稚園において相談を受け付けている。また、市の子育て情報誌において私立幼稚園や子育て支援について情報提供している。

【子育て相談の実施】

子育てに関する悩みを抱えている子育て家庭の相談を子育て支援センターや市役所で行い、子育てを支援した。

〈実績等〉

- ◎ 育児相談利用延人数(中央子育て支援センター)
 - ・H27:144人、H28:275人、H29:350人、H30:273人
- ◎ 育児相談利用延人数(鷺別子育て支援センター)
 - ・H27:-人、H28:-人、H29:-人、H30:161人
- ◎ 育児相談利用延人数(登別子育て支援センター)
 - ・H27:126人、H28:98人、H29:64人、H30:65人

③教育・保育及び子育て支援事業の充実

【公立保育所の民営化】

公立保育所で培われてきた保育に民間の技術や手法を取り入れた幼児教育を加え、地域の未来を担う子どもたちに「保育」と「教育」の一体的な提供を図るとともに、民間活力を取り入れた新たな保育環境を構築するため、公立保育所の民営化を進め、保育需要に柔軟に対応する保育サービス、地域の子育て支援の充実を図るため、平成25年6月に「公立保育所民営化の考え方」をまとめ平成27年4月からの民営化を目指したが、子ども・子育て支援法の成立・施行といった制度の変化があったことから、民営化を延期し、利用者負担の軽減等に取り組んできた。

このことから、「公立保育所民営化の考え方」をもとに令和元年5月に「公立保育所民営化方針」を策定した。今後は令和2年度より幌別東保育所及び栄町保育所の運営を民間に委託し、栄町保育所は令和6年度に民営化と併せて認定こども園の開設を目指し、幌別東保育所は民営化の時期や開設場所等の検討を進める。

〈実績等〉

- ◎ 民営化した保育所
 - ・H27:0施設、H28:0施設、H29:0施設、H30:0施設

【新制度の普及と認定こども園の推進】

地域の未来を担う子どもたちを育むための子ども・子育て支援新制度を円滑に施行するため、情報収集や利用者への情報提供を行うとともに、就学前の子どもに幼児教育・保育を保護者の就労の有無にかかわらず一体的に提供するとともに、地域における子育て支援を行う機能を備える認定こども園を推進した。

民間事業者が認定こども園に以降しやすいよう市独自の利用者負担額の軽減を実施した。

令和元年11月時点で、認定こども園は2施設ある。

今後、令和6年度に1施設、認定こども園の開設を目指す。

〈実績等〉

- ◎ 認定こども園の数
 - ・H27:0施設、H28:0施設、H29:2施設、H30:2施設

【施設型給付・地域型保育給付の推進】

子ども子育て支援法における保育所、幼稚園、認定こども園や地域型保育事業の利用に対し、施設型給付費を支給しました。

民間事業者が認定こども園に以降しやすいよう市独自の利用者負担額の軽減を実施した。

令和元年11月時点で、12施設に給付を実施している。

〈実績等〉

◎教育・保育施設等給付費支給施設数
・H27:0施設、H28:1施設、H29:5施設、H30:8施設

【一時保育事業の実施】

保護者の就労や急病、事故等により一時的に家庭での保育が困難となった児童の保育や、保護者の急病、事故等による緊急的又は一時的な保育を実施した。令和元年11月現在、1か所で実施している。

〈実績等〉

◎一時保育実施施設
・H27:1施設、H28:1施設、H29:1施設、H30:1施設
◎実利用人数
・H27:88人、H28:83人、H29:56人、H30:46人
◎利用述べ日数
・H27:239日、H28:221日、H29:130日、H30:206日

【延長保育事業の実施】

保護者の就労形態の多様化や勤務時間の増加等の保育ニーズに対応し、必要に応じて通常保育時間以上の保育を行っている。令和元年11月時点では、7か所(保育所5か所、認定こども園2か所)で実施している。

〈実績等〉

◎延長保育実施施設
・H27:5箇所、H28:5箇所、H29:7箇所、H30:7箇所
◎5保育所利用延べ人数
・H27:900人、H28:709人、H29:776人、H30:631人
◎5保育所利用延べ日数
・H27:4,185日、H28:3,231日、H29:2,905日、H30:2680日

【休日保育事業の実施】

日曜・祝祭日などに、保護者の勤務等により家庭で保育できない場合に、休日保育を行った。令和元年11月時点では、1か所で実施している。
今後、必要に応じて休日保育の実施箇所の拡大を検討する。

〈実績等〉

◎休日保育実施施設
・H27:1箇所、H28:1箇所、H29:1箇所、H30:1箇所
◎利用延べ人数
・H27:53人、H28:55人、H29:65人、H30:82人
◎利用延べ日数
・H27:157日、H28:119日、H29:210日、H30:157日

【保育所広域入所事業の実施】

保護者が勤務場所や通勤などの都合により、他市町村の保育所にも入所できるよう配慮し、子ども・保護者の負担軽減と利便性の向上を図るため、受け入れ先の市町村との調整を行った。令和元年11月時点では、4か所で実施している。

〈実績等〉

◎広域入所児童数
・H27:4人、H28:4人、H29:1人、H30:2人

【子どもショートステイ事業の実施】

保護者の病気などにより児童の養育が一時的に困難になった家庭の児童を一定の期間、児童養護施設等で養育する。

従前より、児童養護施設わかすぎ学園(室蘭市)1か所に委託し実施していたが、令和元年度より、実施施設を市内の里親宅2世帯へ拡充し、合計3カ所へ委託し実施している。

【令和元年度 本事業委託先】

- ・社会福祉法人室蘭言泉学園 児童養護施設わかすぎ学園
- ・本市に在住する里親2世帯

〈実績等〉

◎受入を実施した児童の数

・H27:0人、H28:2人、H29:1人、H30:0人、R1:1人(10/31時点)

【病児・病後児保育事業の実施】

病気中もしくは病気の回復期にある児童を、保護者の就労などの理由により家庭内で保育できない場合に、病院・診療所、保育所等に付設された専用スペースで一時的に保育を行う事業である。担い手の確保や環境整備に課題があり、現在市では実施していない。

【保育所地域活動事業の充実】

地域に開かれた保育所として、全ての保育所で高齢者との世代間交流や地域の異年齢児交流事業を実施した。交流内容の充実を図り、子ども達の発達を支援するとともに、交流先の方々にも参加いただける内容を盛り込んでいく。

令和元年11月時点では5保育所すべて実施している。

〈実績等〉

◎事業実施施設数

・H27:5箇所、H28:5箇所、H29:5箇所、H30:5箇所

【保育の質の向上】

保育の質の向上を図るため、保育士の専門性、人材の安定的な確保を目指し、北海道主催の講習会や民間の専門機関が行う個別保育研修に積極的に参加するとともに、それらの資料を活用し、職場内研修や臨床心理士等の専門家と連携し、保育士個々の資質の向上に努めた。令和元年11月時点では、保育士等専門堅研修、主任保育士等研修、障がい児保育担当保育士等研修、乳児保育担当者保育士等研修の受講を予定している。

④各種経済的支援

【児童手当の支給】

児童手当法に基づき、児童を養育している方に手当を支給し、家庭における生活の安定に寄与し、子どもの健全育成を図った。

〈実績等〉

◎児童手当支給実人数(現況届当初送付数)

・H27:3,007人、H28:2,914人、H29:2,891人、H30:2,799人

◎3歳未満支給対象延べ人数(月額15,000円)

・H27:9,674人、H28:9,348人、H29:9,469人、H30:9,155人

◎3歳以上小学校就学前の第1子、第2子支給対象延べ人数(月額10,000円)

・H27:33,222人、H28:30,300人、H29:29,176人、H30:28,492人

◎3歳以上小学校就学前の第3子以降対象延べ人数(月額15,000円)

・H27:4,439人、H28:4,465人、H29:4,504人、H30:4,388人

◎中学生支給対象延べ人数

・H27:12,853人、H28:1,308人、H29:12,551人、H30:11,922人

◎特例給付支給延べ人数(月額5,000円)

・H27:877人、H28:1,149人、H29:1,424人、H30:1,487人

◎認定保留者への案内文発送件数

・H27:36件、H28:22件、H29:34件、H30:27件

◎児童手当・特例給付現況届 未提出者数(時効成立件数)

・H27:1人、H28:1人、H29:1人、H30:5人

【子ども医療費の助成】

住民税の課税状況に応じ、中学生までの子どもの医療費の自己負担額の一部を助成した。

〈実績等〉

◎医療助成額

・H27: 52,052千円、H28: 49,940千円、H29: 48,108千円、H30: 47,490千円

◎月平均受給者数

・H27: 3,862人、H28: 3,718人、H29: 3,673人、H30: 3,576人

【利用者負担の軽減】

私立幼稚園就園奨励費補助金等により、保護者の保育料負担を支援した。平成29年度からは、多子世帯の保護者負担の軽減を図った。また、保育所及び認定こども園に通う保育を必要とする3歳以上児の主食費を全額補助した。

令和元年10月から幼児教育・保育に係る保育料が無償化され、給食費に関する考え方が整理されたことから、主食費補助のあり方を検討する。

〈実績等〉

◎幼稚園就園奨励費補助金額

・H27: 73,182千円、H28: 78,479千円、H29: 25,805千円、H30: 16,988千円

◎幼稚園就園奨励費補助対象施設

・H27: 15箇所、H28: 14箇所、H29: 9箇所、H30: 6箇所

◎多子世帯の保育料軽減支援事業費

・H27: -千円、H28: -千円、H29: 17,646千円、H30: 21,378千円

(2) 子どもの居場所づくり

① 放課後子ども総合プランの推進

【放課後子ども総合プラン推進事業の推進】

放課後等に子どもが安心して活動できる場の確保を図るとともに、次世代を担う児童の健全育成を支援するため、放課後子ども教室、放課後児童クラブを実施した。登録者の増加に対応できるよう、活動スペースや運営スタッフの確保・育成・発掘のため、道主催の研修会への積極的な参加を推奨し、人材の育成を図るとともに、放課後子ども教室の体験学習等に児童クラブの子どもたちが参加するなど、引き続き連携を推進していく。

〈実績等〉

◎放課後子ども教室登録者数(鷺別)

・H27: 149人、H28: 162人、H29: 144人、H30: 124人

◎放課後子ども教室登録者数(幌別東)

・H27: 49人、H28: 51人、H29: 46人、H30: 47人

◎年間実施日数(鷺別)

・H27: 94日、H28: 95日、H29: 94日、H30: 94日

◎年間実施日数(幌別東)

・H27: 61日、H28: 81日、H29: 78日、H30: 78日

◎プログラム実施回数(鷺別)

・H27: 84回、H28: 87回、H29: 87回、H30: 84回

◎プログラム実施回数(幌別東)

・H27: 61回、H28: 81回、H29: 78回、H30: 78回

◎参加者数(鷺別)

・H27: 4,205人、H28: 4,268人、H29: 4,043人、H30: 3,351人

◎参加者数(幌別東)

・H27: 1,651人、H28: 1,849人、H29: 1,857人、H30: 2,020人

◎開催地区

・H27: 2地区、H28: 2地区、H29: 2地区、H30: 2地区

【児童館・放課後児童クラブ・放課後子ども教室の一体的な運営】

各施設の設置目的等を踏まえながら、子どもたちが安心・安全に放課後を過ごすことができるよう、児童館・放課後児童クラブと放課後子ども教室との一体的な運営方法について整理し、全校児童を対象とした事業への拡大も検討していく。

〈実績等〉

- ◎放課後子ども教室登録者数(鷺別)
 - ・H27:149人、H28:162人、H29:144人、H30:124人
- ◎放課後子ども教室登録者数(幌別東)
 - ・H27:49人、H28:51人、H29:46人、H30:47人
- ◎年間実施日数(鷺別)
 - ・H27:94日、H28:95日、H29:94日、H30:94日
- ◎年間実施日数(幌別東)
 - ・H27:61日、H28:81日、H29:78日、H30:78日
- ◎プログラム実施回数(鷺別)
 - ・H27:84回、H28:87回、H29:87回、H30:84回
- ◎プログラム実施回数(幌別東)
 - ・H27:61回、H28:81回、H29:78回、H30:78回
- ◎参加者数(鷺別)
 - ・H27:4,205人、H28:4,268人、H29:4,043人、H30:3,351人
- ◎参加者数(幌別東)
 - ・H27:1,651人、H28:1,849人、H29:1,857人、H30:2,020人
- ◎開催地区
 - ・H27:2地区、H28:2地区、H29:2地区、H30:2地区

②児童館、公園等の充実

【子どもの活動と安全に配慮した環境整備】

地域のニーズを把握しながら、利用者の安全・安心を確保し、快適な環境をつくるため、都市公園施設の計画的な改築等を行うとともに、子どもが身近なところで、のびのび遊ぶことができる場所の確保や、子どもに豊かな自然環境を与え、子ども自身が遊びを見つけて、遊びを創りだせるような環境を整備した。

〈実績等〉

- ◎登別市内の都市公園数
 - ・H27:44箇所、H28:44箇所、H29:44箇所、H30:44箇所
- ◎都市公園の遊具数
 - ・H27:172基、H28:174基、H29:174基、H30:176基
- ◎遊具健全度
 - ・H27:72.7%、H28:73%、H29:74.1%、H30:78.4%

【児童館事業の充実】

児童に健全な遊びを与えて、その健康の増進と情操を豊かにし、児童福祉の向上を目的とした児童館活動を充実するとともに、児童の適正な居場所の確保のため施設の老朽化対策に努めた。

〈実績等〉

- ・H29年度に鷺別児童館の建替を実施した。
- ・R元年度に富士児童館遊戯室の改修工事を実施した。

【青少年会館の利用促進】

青少年が学習、サークル活動、並びに体育、レクリエーション等を通じ、余暇の活用を図るとともに社会文化の向上を目的に健全な次の世代の担い手になる場として青少年会館を設置している。平成30年度末現在、2か所設置している。

〈実績等〉

- ◎利用者団体登録数(青少年団体)
 - ・H27: 18団体、H28: 29団体、H29: 34団体、H30: 32団体
- ◎利用者登録団体(一般団体)
 - ・H27: 88団体、H28: 67団体、H29: 66団体、H30: 71団体
- ◎利用者団体加盟者数(青少年団体)
 - ・H27: 440人、H28: 665人、H29: 1,193人、H30: 907人
- ◎利用者団体加盟者数(一般年団体)
 - ・H27: 2,669人、H28: 2,364人、H29: 2,050人、H30: 2,365人
- ◎開館日数
 - ・H27: 359日、H28: 360日、H29: 359日、H30: 357日
- ◎青少年会館使用人数
 - ・H27: 49,465人、H28: 45,315人、H29: 44,724人、H30: 46,136人
- ◎体育施設の利用者数
 - ・H27: 242,570人、H28: 264,304人、H29: 255,103人、H30: 252,569人

【図書館事業の実施】

親子がふれあう機会を計画的に提供するため、気軽に利用できる自由な交流の場である図書館を会場に、年間を通して多種多様な事業を実施した。

- ◆主な実施事業
 - ◎子ども読書週間における絵本作家等の講演・ワークショップ・展示等
 - ◎各種おはなし会
 - ◎図書館まつり
 - ◎ブックスタート・ライブラリースタート

など

〈実績等〉

- ◆平成27年度

子ども読書週間事業「もったいないばあさんのおはなし会」	参加者53名
おはなし会(職員9回、ボランティア2団体合計33回)全42回	参加者514名
図書館まつり	参加者299名
ブックスタート及びライブラリースタート(BSは7月より実施)	配布数292名
- ◆平成28年度

子ども読書週間事業「日本一ののぼりべつさかなをつくろう！」	参加者17名
おはなし会(職員8回、ボランティア2団体合計21回)全29回	参加者311名
図書館まつり	参加者80名
ブックスタート及びライブラリースタート	配布数414名
- ◆平成29年度

子ども読書週間事業「めがねおじさんのにんぎょうげきと工作」	参加者96名
おはなし会(職員10回、ボランティア3団体合計32回)全42回	参加者487名
ブックスタート及びライブラリースタート	配布数412名
- ◆平成30年度

子ども読書週間事業「堀川真ワークショップ」	参加者28名
おはなし会(職員7回、ボランティア2団体合計20回)全27回	参加者336名
ブックスタート及びライブラリースタート	配布数414名
- ◆令和元年度(上半期まで)

子ども読書週間事業「松田奈那子さんをむかえて」	参加者43名
おはなし会(職員5回、ボランティア2団体合計8回)全13回	参加者173名
ブックスタート及びライブラリースタート	配布数159名

2 親と子の健康の確保及び増進

基本目標	2 親と子の健康の確保及び増進
成果	
<p>育児の各ステージにおける子どもと子どもを養育する全ての人の心身の健康を維持・増進していくために、栄養のバランスと規則正しい食事習慣の教育、各種育児相談、親子の健康を支える医療の充実など、各分野の連携により親と子の健康の確保と増進を図った。</p>	
体系図	<pre> graph LR A[2 親と子の健康の確保及び増進] --> B[(1) 親と子の健康の確保] A --> C[(2) 健康な生活習慣・食育の推進] A --> D[(3) 小児医療の確保] B --> B1[① 講座や教室、相談事業の充実] B --> B2[② 健診等の充実] C --> C1[① 食育の推進] C --> C2[② 思春期保健対策の充実] D --> D1[① 小児医療体制・夜間救急医療体制の確保] </pre>

□主要施策に対する取組及び成果

(1) 親と子の健康の確保、(2) 健康な生活習慣・食育の推進、(3) 小児医療の確保

妊産婦・乳幼児に関わる各種健診の実施並びに乳幼児育児相談や栄養相談などの相談事業や保健師による家庭訪問を実施した。すくすく☆親子相談利用者数は近年増加傾向にあり、今後も継続していく必要がある。もぐもぐ食育広場の利用者数も増加しており、乳幼児の食育に対する意識醸成が図られたと考えられる。

□施策の方向に関する取組

(1) 親と子の健康の確保

① 講座や教室、相談事業の充実

【母子健康手帳の交付】

お母さんとおさんの健康管理に役立つことを目的に、妊娠中の方に母子健康手帳を交付した。また、安心して妊娠期を過ごし出産を迎えられるよう交付時に保健師や助産師が必ず面接し、妊娠期アンケートや、支援を必要とする妊婦を対象に相談を行った。平成30年度の交付人数は284人である。

〈実績等〉

◎母子手帳交付人数

・H27:307人、H28:331人、H29:299人、H30:284人

【妊産婦訪問の実施】

妊娠中に支援が必要な方及び産婦全員を対象に訪問による保健指導を行った。平成30年度の訪問数は358人である。

〈実績等〉

◎妊産婦訪問件数(延べ)

・H27:326人、H28:327人、H29:368人、H30:358人

【不妊治療助成事業の普及啓発特定不妊治療費の助成事業】

特定不妊治療(体外受精・顕微授精)を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図ることを目的に、治療費の一部を助成した。

〈実績等〉

◎申請実人数

・H27:-人、H28:-人、H29:27人、H30:17人

◎申請延人数

・H27:-人、H28:-人、H29:48人、H30:28人

【すこやかマタニティ教室の開催】

妊婦とその家族を対象に、安心して出産・子育てに取り組むことができるよう、沐浴やオムツ交換等の実習体験のほか、産後の生活等についてのお話を行った。平成30年度の教室参加者数は62人である。

〈実績等〉

◎参加実人数

・H27:71人、H28:61人、H29:50人、H30:62人

【赤ちゃん訪問の実施】

赤ちゃんが生まれた家庭を全戸訪問し、母乳栄養などのきめ細やかな指導を行い、育児不安を軽減し、母の育児を全面的にサポートした。平成30年度の訪問数は、263人(98.9%)である。

〈実績等〉

◎赤ちゃん訪問実施件数

・H27:300人、H28:316人、H29:285人、H30:263人

【乳幼児訪問の実施】

赤ちゃん訪問や健診において、子育てに自信が持てない、あるいは育児不安がある保護者や、乳幼児健診を受診できない世帯を対象に、家庭訪問により、育児や成長発達等に関する相談を行った。平成30年度の訪問数は、延べ156人(100%)である。

〈実績等〉

◎乳幼児訪問実件数

・H27:152人、H28:164人、H29:133人、H30:117人

◎乳幼児訪問延べ件数

・H27:211人、H28:187人、H29:169人、H30:156人

【乳幼児相談の実施】

育児相談の希望がある乳幼児とその保護者を対象に、月に1回すくすく☆親子相談を実施した。平成30年度の利用者数は433人である。

〈実績等〉

◎すくすく☆親子相談利用者数
・H27:358人、H28:284人、H29:426人、H30:433人

②健診等の充実

【妊婦健康診査の実施】

妊娠期の健康管理と安全な出産に向けて、妊婦の健康診査に係る費用の一部(一般健診は14回、超音波は4回)を助成した。平成30年度を受診者数は321人(99.4%)である。

〈実績等〉

◎妊婦健康診査受診表交付者数
・H27:355人、H28:332人、H29:324人、H30:321人

【乳幼児健康診査の実施】

4～5か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に、月1回、問診、診察、計測、育児相談、栄養相談を行った。4～5か月児健診では、育児アンケートを実施し、子育てにおいて支援が必要な保護者に支援を実施した。平成30年度を受診者数は、4～5か月児285人(97.3%)、1歳6か月児299人(96.5%)、3歳児321人(98.2%)である。

〈実績等〉

◎4～5か月児健康診査受診者数
・H27:271人、H28:327人、H29:290人、H30:285人
◎1歳6か月児健康診査受診者数
・H27:301人、H28:301人、H29:326人、H30:299人
◎3歳児健康診査受診者数
・H27:328人、H28:315人、H29:291人、H30:321人

【幼児歯科保健対策の実施】

(健康推進G)

幼児期の歯科保健対策を実施した。

■フッ素塗布

1歳6か月児健康診査受診者のうち希望者を対象に、半年毎、4歳までフッ素塗布を行った。

■親子むし歯予防教室

1歳～1歳6か月児とその保護者を対象に、年2回、歯科医師による健康教育、歯科検診等を行った。

■フッ素洗口

保育所の4・5歳児のうち希望者を対象に、フッ素洗口を行った。

(こども育成G)

幼児期の歯科保健対策を実施した。

■フッ素塗布

1歳6か月児健康診査受診者のうち希望者を対象に、半年毎、4歳までフッ素塗布を行った。

■むし歯予防教室

1歳～1歳6か月児とその保護者を対象に、年2回、歯科医師による健康教育、歯科検診等を行った。

■フッ素洗口

保育所の4・5歳児のうち希望者を対象に、フッ素洗口を行った。

平成30年度からは、4・5歳児にフッ化物洗口を実施している市内の幼稚園及び認定こども園にその係る費用の一部または全部を補助した。

今後も継続していく。

<p>〈実績等〉 (健康推進G) ◎フッ素塗布者数 ・H27:581人、H28:604人、H29:652人、H30:627人 ◎むし歯予防教室参加者数 ・H27:67人、H28:86人、H29:82人、H30:82人 (こども家庭G) ◎フッ化物洗口実施保育所 ・H27:5箇所、H28:5箇所、H29:5箇所、H30:5箇所 ◎フッ化物洗口推進事業補助対象施設 ・H27:-箇所、H28:-箇所、H29:-箇所、H30:4箇所 ◎フッ化物洗口推進事業補助額 ・H27:-千円、H28:-千円、H29:-千円、H30:283千円</p>
--

【新入学児童健康診断 児童生徒健康診断の実施】

<p>小学校へ入学する児童の健康診断を実施し、入学に当たっての健康指導や入学後の保健指導などに役立った。 また、学齢ごとに対象となる児童生徒について、次のとおり検診を行った。 結核検診(小・中全員) 心臓・眼科・耳鼻科検診(小1・中1) ぎょう虫卵検査(幼稚園・小1～小3) 尿検査・内科検診・歯科検診(小・中全員)</p>
<p>〈実績等〉 ◎新入学児童健康診断受診者数 ・H27:334人、H28:333人、H29:309人、H30:344人、R1:321人</p>

(2) 健康な生活習慣・食育の推進

① 食育の推進

【乳幼児食育事業の推進】

<p>生後7～8か月児を持つ保護者を対象に年6回、「もぐもぐ食育ひろば」を開催し、月齢に応じた離乳食の進め方や必要な栄養についての講話や母子間交流を行った。平成30年度の参加者数は98人である。</p>
<p>〈実績等〉 ◎もぐもぐ食育ひろば参加者数 ・H27:53人、H28:90人、H29:91人、H30:98人</p>

【母子栄養管理の実施】

<p>10か月児を対象に行う10か月児相談において、毎月1回、育児相談、離乳食指導、栄養相談、遊びの紹介等を行った。平成30年度の利用者数は277人である。</p>
<p>〈実績等〉 ◎10か月児相談受診者数 ・H27:284人、H28:305人、H29:317人、H30:277人</p>

【おやつ作り講習の開催】

<p>子育て支援センターにおいて、栄養士の指導により、離乳食やおやつ作りを楽しみながら、お母さん同士の交流を深める講習を開催した。</p>
<p>〈実績等〉 ◎食育・離乳食等講習会 ・H27:1回、H28:2回、H29:2回、H30:3回</p>

【保育所における食育の推進】

「保育所食育計画」を策定し、家庭と保育所の役割を分担し連携を図りながら、規則正しい生活リズムの確立、バランスのとれた食生活、望ましい食習慣の定着に向けた食育の推進を図った。

新規入所保護者への保育所食育計画の配布。
保育所食育計画に基づく進捗評価を毎月実施。
食育だより、献立表の配布。

②思春期保健対策の充実

【思春期の健康と性の知識の啓発】

市内の中学校において、中学2年生を対象に、生徒自身が生命と性について知識を得て、自らを大切にすることを学習する「思春期教室」を開催した。また、学校等で実施する性教室に関する相談や助言及び教材等の提供を行った。平成30年度の教室開催数は3回である。

〈実績等〉

◎思春期教室開催回数

・H27:4回、H28:5回、H29:3回、H30:3回

【スクールカウンセラーの配置】

小・中学校におけるいじめや不登校などの問題行動に対応するため、臨床心理士などの専門家を学校に拠点校方式で配置し、児童・生徒へのカウンセリング体制の充実を図った。児童生徒が抱える問題の多様化、複雑化により相談件数が増加傾向にあるため、カウンセリング体制の強化及びより一層の機能の充実を図る。平成30年度末現在、3名（拠点校方式）配置している。

〈実績等〉

◎配置数

・H27:2人、H28:3人、H29:3人、H30:3人、R1:4人

◎児童生徒面談件数

・H27:103件、H28:80件、H29:78件、H30:114件

【心の教室相談員の配置】

心の教室を設けるとともに相談員を配置し、生徒たちの不安やストレスなどを和らげ、心のゆとりを持てるよう、友人関係や進路、親子関係、登校拒否などについての相談を行った。今後は、不登校等の背景にある課題の初期段階での解決に向けて取り組みを進める。平成30年度末現在、5名（全中学校）配置している。

〈実績等〉

◎相談を受けた件数

・H27:69件、H28:89件、H29:34件、H30:119件

【薬物乱用防止対策や性教育対策の講習会】

性に関する健全な意識の涵養と併せて喫煙や薬物等に関する正しい知識の普及を図るため、専門的な講師を呼んで保護者や児童生徒等に講習会を実施した。外部講師を活用した講習等の機会充実を図る。

(3)小児医療の確保

①小児医療体制・夜間救急医療体制の確保

【小児救急医療への対応】

小児救急医療支援事業を実施し、休日及び夜間の診療体制を整え、小児重症救急患者の診療を確保した。今後も現行体制を継続していく。令和元年度末現在、2か所(日鋼記念病院・製鉄記念室蘭病院)で対応している。

〈実績等〉

- ◎日曜・祝日で診療体制を確保した日
・H27:72日、H28:72日、H29:72日、H30:73日
- ◎夜間で診療体制を確保した日
・H27:366日、H28:365日、H29:365日、H30:365日
- ◎土曜日で診療体制を確保した日
・H27:51日、H28:50日、H29:49日、H30:48日
- ◎対象病院数
・H27:2病院、H28:2病院、H29:2病院、H30:2病院

【小児救急医療電話相談の普及啓発】

子どもを持つ親が、看護師や小児科医から子どもの症状に応じた適切なアドバイスを受けることができ、夜間の救急医療の相談にも対応している、北海道が行う「小児救急医療電話相談事業」の普及啓発に努めた。

【予防接種推進の取り組み】

予防接種による免疫効果や安全性等の情報を提供するとともに、各種の予防接種を実施した。

〈実績等〉

- ◎ポリオの接種者数
・H27:64人、H28:39人、H29:19人、H30:1人
- ◎BCGの接種者数
・H27:285人、H28:335人、H29:291人、H30:292人
- ◎三種混合の接種者数
・H27:1人、H28:0人、H29:0人、H30:0人
- ◎四種混合の接種者数
・H27:1,147人、H28:1,325人、H29:1,157人、H30:1,188人
- ◎二種混合の接種者数
・H27:395人、H28:371人、H29:329人、H30:406人
- ◎麻しん風しんの接種者数
・H27:590件、H28:631件、H29:618件、H30:617件
- ◎ヒトパピローマウイルス
・H27:0人、H28:0人、H29:0人、H30:0人
- ◎ヒブの接種者数
・H27:1,176人、H28:1,321人、H29:1,153人、H30:1,168人
- ◎小児肺炎球菌の接種者数
・H27:1,162人、H28:1,320人、H29:1,155人、H30:1,174人
- ◎水痘の接種者数
・H27:640人、H28:578人、H29:609人、H30:581人
- ◎日本脳炎の接種者数
・H27:-人、H28:3,252人、H29:2,945人、H30:2,860人
- ◎B型肝炎の接種者数
・H27:-人、H28:511人、H29:860人、H30:881人
- ◎高齢者インフルエンザ接種者数
・H27:8,889人、H28:9,084人、H29:8,870人、H30:9,389人
- ◎高齢者肺炎球菌の接種者数
・H27:1,530人、H28:1,630人、H29:1,657人、H30:1,556人

【未熟児養育医療の給付】

入院養育が必要な未熟児について、養育に必要な医療を給付した。

〈実績等〉

◎年間給付費

・H27:1,207千円、H28:2,318千円、H29:1,476千円、H30:1,231千円

◎年間給付件数

・H27:11件、H28:23件、H29:16件、H30:12件

3 子どもの成長に資する教育環境の整備

基本目標	3 子どもの成長に資する教育環境の整備
成果	子どもたちが、さまざまな学習の機会や人々との交流を通して、他人への思いやりや自然への愛情を育み、次代を担う社会の一員として成長できるよう、家庭、学校、地域における教育環境の整備を図った。
体系図	<pre> graph LR A[3 子どもの成長に資する教育環境の整備] --> B["(1) 学校教育環境の充実"] A --> C["(2) 家庭や地域の教育力の向上"] A --> D["(3) 子どもの健全育成の取り組み"] B --> B1["① 学力向上の取り組み"] B --> B2["② 教育相談の充実"] B --> B3["③ 地域とつながる学校づくり"] C --> C1["① 学習機会・情報提供の拡充"] D --> D1["① 体験活動等の充実"] D --> D2["② 世代間交流の促進"] D --> D3["③ 子どもを取り巻く有害環境対策の推進"] </pre>

□主要施策に対する取組及び成果

(1) 学校教育環境の充実、(2) 家庭や地域の教育力の向上、(3) 子どもの健全育成の取り組み

不登校やいじめなどの問題に対処するため、教育相談やスクールカウンセラーの派遣を行った。

□施策の方向に関する取組

(1) 学校教育環境の充実

① 学力向上の取り組み

【確かな学力の向上推進事業の実施】

学力向上対策事業として、学習状況の実態を把握するため、小中学校においてチャレンジテストを実施した。また、学校間・学級内の学力差などの課題解決に向けた指導方法等の工夫改善、学習指導員による練習問題配布による基礎的、基本的な学習内容の定着を図った。

〈実績等〉

◎ほっかいどうチャレンジテストの取組

- 1 前年度サポート問題(4月) ※前年度の課題に応じた問題
 - 2 1学期末問題(6～8月) ※1学期のまとめの問題
 - 3 1学期サポート問題(8月) ※1学期の課題に応じた問題
 - 4 夏休み版 ※基礎的・基本的な問題
 - 5 2学期末問題(11～1月) ※2学期のまとめの問題
 - 6 2学期サポート問題(1月) ※2学期の課題に応じた問題
 - 7 学年末問題(1～3月) ※学年のまとめの問題
- (平成27年度～令和元年度)

【特色ある学校づくり推進事業の充実】

自由な学習環境の中で学ぶ総合学習や、命の尊さや自然に親しむ心を育てる小動物の飼育や学校菜園などを推進した。温泉入浴体験、地域人材を活用した講演・野外体験学習、職業体験などを実施した。今後はさらに、産業や自然など地域の素材を活用したものづくりや社会体験・観察の機会充実を図る。

<p>〈実績等〉</p> <p>◎温泉入浴体験参加人数 ・H27:411人、H28:383人、H29:370人、H30:330人</p> <p>◎総合的な学習の時間(校外活動回数) ・H27:19回、H28:22回、H29:22回、H30:21回</p> <p>◎総合的な学習の時間(職場体験実施回数) ・H27:9回、H28:7回、H29:6回、H30:5回</p> <p>◎総合的な学習の時間(職場体験に伴うバスケット発行枚数) ・H27:193枚、H28:117枚、H29:136枚、H30:154枚</p> <p>◎花いっぱい運動実施校数 ・H27:8校、H28:8校、H29:8校、H30:8校</p> <p>◎花いっぱい運動にかかる一年草購入実績 ・H27:13ケース、H28:13ケース、H29:13ケース、H30:13ケース</p>
--

②教育相談の充実

【不登校・いじめ等対策会議 ふれあいサポート懇談会の開催】

<p>校長会や教頭会の代表、小・中学校教諭、教育委員会などによる、不登校・いじめ等の対策を推進するための会議を開催した。また、教職員を対象とした、不登校・いじめ等対策のための研修会を行い、教職員の資質の向上に努める。</p>
<p>〈実績等〉</p> <p>◎不登校いじめ等対策会議開催数 ・H27:2回、H28:2回、H29:2回、H30:2回</p> <p>◎ふれあいサポート懇談会開催数 ・H27:2回、H28:2回、H29:2回、H30:2回</p>

【教育相談・いじめ相談の充実】

<p>専門相談員を配置し、電話や来室による相談を受け、引き続き気軽に相談できる環境の充実に努める。平成30年度末現在、2名配置している。</p>
<p>〈実績等〉</p> <p>◎来室相談者数 ・H27:11人、H28:5人、H29:1人、H30:4人</p> <p>◎電話相談件数 ・H27:9件、H28:2件、H29:4件、H30:4件</p>

【保護者懇談会の開催】

<p>不登校児童・生徒をかかえる保護者との懇談会を開催して不登校対策に努めた。</p>
<p>〈実績等〉 面談は行うが、保護者との懇談会は実施していない。</p>

【スクールソーシャルワーカーの配置】

<p>学校だけでは対応しきれない不登校など生徒指導上の問題を抱える小中学校へスクールソーシャルワーカーを派遣し、課題解決に向けた校内体制の確立を図るとともに、関係機関と連携しながら児童生徒や家庭への働きかけを行い、効果的な支援を行った。平成30年度末現在、2名配置している。</p>
<p>〈実績等〉</p> <p>◎相談支援対象児童生徒数 ・H27:50人、H28:29人、H29:10人、H30:10人</p> <p>◎配置数 ・H27:2人、H28:2人、H29:2人、H30:2人、R1:2人</p>

【スタディ広場の実施】

<p>適応指導教室等の機能として、不登校児童生徒の復帰支援を行った。</p>
--

〈実績等〉

◎通級児童生徒数

・H27:4人、H28:7人、H29:3人、H30:3人

③地域とつながる学校づくり

【開かれた学校づくりの推進事業の実施】

市内全校区に学校運営協議会を設置し、コミュニティースクールを導入していく。

〈実績等〉

◎学校運営協議会実施校

・H27:13校、H28:13校、H29:13校、H30:13校、R1:13校

◎学校運営協議会開催数

・H27:42回、H28:42回、H29:41回、H30:44回

【教育ふれあいウィークの実施】

市内全小・中学校が、授業や日常の学校生活を公開するほか、作品展等の取り組みを行った。

〈実績等〉

◎ふれあいウィーク来校者数

・H27:1370人、H28:1448人、H29:1348人、H30:1405

【地域学校協働本部事業の充実】

地域と学校がパートナーとして連携・協働し、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、地域住民のつながりを深めることにより、「学校を軸とした地域づくり」を推進することを目的とするため、地域学校協働本部を設置し、事業の充実を図った。学校からの要望事項をスムーズに進めるため、学校・家庭・地域が連携して各中学校区で地域の特色を生かした地域学校協働活動を実施していく。

〈実績等〉

◎ボランティア登録者数

・H27:103人、H28:125人、H29:132人、H30:130人

◎年間活動日数

・H27:118日、H28:206日、H29:294日、H30:272日

【学校開放事業の推進】

地域のスポーツ活動促進のため、市内の小・中学校等の体育館を開放した。平成26年度からは全校で利用者による自主管理体制で行われた。平成30年度末現在、体育館10施設で実施している。

〈実績等〉

◎利用人数

・H27:24,370人、H28:23,195人、H29:21,061人、H30:21,717人

◎年間利用団体数

・H27:1,714団体、H28:1,568団体、H29:1,456団体、H30:1,548団体

◎団体登録数

・H27:79団体、H28:77団体、H29:70団体、H30:70団体

◎学校体育施設開放事業小学校開放施設

・H27:8施設、H28:8施設、H29:8施設、H30:8施設

◎学校体育施設開放事業中学校開放施設

・H27:1施設、H28:1施設、H29:1施設、H30:1施設

◎学校体育施設開放事業その他の公共施設

・H27:1施設、H28:1施設、H29:1施設、H30:1施設

【幼保・小・中の連携の推進】

幼保小中連携協議会を設置し、情報交換、子ども同士や職員間の交流の環境を整備し、体力増強や読書推進など、幼児期から中学校まで一貫した取り組みを進めた。令和元年度より、幼小連携・接続推進リーダー活用事業、及び幼児教育と小学校教育の接続の円滑化モデル事業に取り組み、連携に係る取組を加速させていく。

〈実績等〉

- ・第1回登別市幼保・小中連携協議会(代表者会議) 8月開催
- ・第2回登別市幼保・小中連携協議会(実務担当者会議) 11月開催
- ・第3回登別市幼保・小中連携協議会「幼保・小実務担当者会議(合同引き継ぎ会)」 3月開催
(平成27年度～令和元年度)

【PTA活動の推進】

子どもたちが豊かな人間性を育むための各種研修活動や単位PTAの連携協力等の事業を実施するPTA連合会を支援し、教育の充実・発展や家庭の教育力向上を図った。

〈実績等〉

- ◎広報紙発行回数
 - ・H27:2回、H28:2回、H29:2回、H30:2回
- ◎研究大会開催回数
 - ・H27:2回、H28:2回、H29:2回、H30:1回
- ◎教育講話会開催回数
 - ・H27:1回、H28:1回、H29:1回、H30:1回
- ◎母親研修会開催回数
 - ・H27:1回、H28:2回、H29:2回、H30:1回
- ◎登別市PTA連合会会員数
 - ・H27:4,066人、H28:3,992人、H29:3,897人、H30:3,799人

(2)家庭や地域の教育力の向上

①学習機会・情報提供の拡充

【家族の時間づくりプロジェクトの推進】

平成25年度から親子のコミュニケーションの場や機会を増やすため、市内の全小・中学校が暦にない3連休以上の休みを創出した。各団体等の協力のもと、テーマパークや公共施設の割引特典を設けるほか、企業等の理解と周知を図り、保護者の休暇取得を働き掛けてきたが、事業の趣旨への賛同があるものの、休暇を取得できない家庭からの反対意見や、学校運営上、休日を創出することが難しいことから平成29年度で終了とした。平成28年度、29年度については、登別温泉旅館旅館組合に協賛いただき、プレ実施として日帰り入浴の割引特典を設けていただいた。

後継事業として、保護者に学校にも休みを求めず、内閣府が定める「家族の日・週間」に合わせ、登別版〈家族の週間〉を実施し、テーマパークや公共施設の割引特典を設けていただき、家族や地域の大切さ等についての理解の促進を図った。

〈実績等〉

【家族の時間づくりプロジェクト】

- ◎市内小中学生利用人数
 - ・H27:985人、H28プレ実施:355人、H28本実施:933人、H29プレ実施:364人、H29本実施:823人
- ◎市内小中学生利用率
 - ・H27:27.9%、H28プレ実施:10.4%、H28本実施:27.3%、H29プレ実施:11.0%、H29本実施:24.8%

【登別版〈家族の週間〉】

- ◎市内小中学生の利用人数
 - ・H30:340人
- ◎市内小中学生の利用率
 - ・H30:10.5%

※令和元年度については、11/10～11/17実施

【家庭教育学級の支援】

家庭での教育力向上のため、幼稚園児や小学生をもつ親が自主企画して行う、子育て等に関する学習会、家庭教育学級の活動を支援した。平成30年度末現在、12学級(小学校8、幼稚園4)で実施している。

〈実績等〉

- 平成27年度:学習会開催数 41回、学習会参加人数 1,418人
- 平成28年度:学習会開催数 41回、学習会参加人数 1,034人
- 平成29年度:学習会開催数 38回、学習会参加人数 1,471人
- 平成30年度:学習会開催数 34回、学習会参加人数 1,389人
- 令和元年度(目標):学習会開催数 34回、学習会参加人数 1,320人

【家庭教育講演会の開催】

親のあり方や子育ての悩み等、家庭での教育力向上につながる学習機会を提供した。平成30年度の参加者数は、39人である。

〈実績等〉

平成27年度：講演会開催数 2回、講演会参加人数 57人
平成28年度：講演会開催数 2回、講演会参加人数 36人
平成29年度：講演会開催数 2回、講演会参加人数 31人
平成30年度：講演会開催数 2回、講演会参加人数 39人
令和元年度(目標)：講演会開催数 2回、講演会参加人数 40人

【子育て講座-親子で あ・そ・ぼ-の開催】

バスを使用してのふおれすと鉱山・水族館等の親子バス遠足、食事と発達の講座など、親子で関わりながら楽しめる講座を実施した。

〈実績等〉

◎子育て講座参加人数(中央子育て支援センター)
・H27:144人、H28:275人、H29:350人、H30:273人
◎子育て講座参加人数(鶯別子育て支援センター)
・H27:-人、H28:-人、H29:-人、H30:161人
◎子育て講座参加人数(登別子育て支援センター)
・H27:289人、H28:248人、H29:197人、H30:216人
◎子育て講座参加人数(富岸子育てひろば)
・H27:380人、H28:803人、H29:999人、H30:1,165人

(3) 子どもの健全育成の取り組み

① 体験活動等の充実

【郷土資料館・文化伝承館体験学習の実施】

地域の連帯感と心の豊かさを醸成するとともに、地域文化の理解や親子のふれあいを深めるため、資料館の日の設置や子どもが参加することのできるバラエティにとんだ体験を提供した。子どもたちが伝統的な生活文化、または遊びに触れることができるよう、今後も魅力的な体験学習を実施する。平成30年度の事業開催数は、17回である。

〈実績等〉

平成27年度：体験事業実施数 17回、体験事業参加者 256人
平成28年度：体験事業実施数 15回、体験事業参加者 228人
平成29年度：体験事業実施数 17回、体験事業参加者 254人
平成30年度：体験事業実施数 17回、体験事業参加者 239人
令和元年度(目標)：体験事業実施数 17回、体験事業参加者 240人

【通学合宿事業の推進】

子どもたちが親元を離れて共同生活をしながら通学し、自主性や協調性、適応能力など生きる力を身に付ける事業を推進した。定員を上回るほどの申込みがある人気事業である。今後も地域ボランティアとの連携強化を図りながら実施した。平成30年度の事業開催数は、4回である。

〈実績等〉

◎参加者実数(男子)
・H27:54人、H28:54人、H29:39人、H30:42人
◎参加者実数(5年生)
・H27:90人、H28:89人、H29:76人、H30:93人
◎参加者実数(6年生)
・H27:77人、H28:43人、H29:38人、H30:23人
◎実施回数
・H27:4回、H28:4回、H29:3回、H30:3回

【ネイチャーセンター自然体験事業の推進】

子どもたちの豊かな心や生きる力を育むため、ネイチャーセンターにおいて、引き続き、鉱山地区の自然を活用した自然体験事業(自然教室、幼児向け自然教室、大人向け自然体験、ふおれすと鉱山冬まつり等)を推進していく。

<p>〈実績等〉</p> <p>◎利用者数(大人)</p> <p>・H27: 12,098人、H28: 11,270人、H29: 11,000人、H30: 10,221人</p> <p>◎参加者数(高校生)</p> <p>・H27: 272人、H28: 169人、H29: 321人、H30: 340人</p> <p>◎参加者数(中学生)</p> <p>・H27: 1,099人、H28: 1,096人、H29: 1,016人、H30: 918人</p> <p>◎参加者数(小学生)</p> <p>・H27: 7,687人、H28: 7,101人、H29: 7,307人、H30: 6,666人</p> <p>◎参加者数(幼児)</p> <p>・H27: 4,195人、H28: 4,043人、H29: 4,041人、H30: 3,482人</p> <p>◎ネイチャーセンター主催事業実施件数</p> <p>・H27: 134件、H28: 120件、H29: 122件、H30: 112件</p> <p>◎ネイチャーセンター主催事業参加人数</p> <p>・H27: 5,773人、H28: 4,594人、H29: 5,142人、H30: 4,572人</p> <p>◎ネイチャーセンター受託事業実施件数</p> <p>・H27: 118件、H28: 147件、H29: 108件、H30: 112件</p>
--

【子ども会活動への支援】

「かるた大会」や「キウシト湿原散策」等、体験活動を実施する登別市子ども会育成連絡協議会への助成を行い、子ども会活動を支援した。平成30年度の事業参加者数は、217人である。

<p>〈実績等〉</p> <p>◎かるた大会参加人数</p> <p>・H27: 40人、H28: 40人、H29: 40人、H30: 50人</p> <p>◎子ども会事業参加者数</p> <p>・H27: 265人、H28: 181人、H29: 172人、H30: 217人</p>

【スポーツ振興事業の推進】

小中学生を対象としたスポーツ教室やスポーツ講習会、スポーツ大会を開催している一般財団法人登別市文化・スポーツ振興財団のスポーツ事業を支援し、市民のスポーツ振興を図った。また、小中学生を含む市民を対象として、登別市民ラジオ体操会と、市民スポーツ・健康フェスティバルを開催することにより、生涯スポーツの振興と市民の健康増進及び体力向上を図る。

<p>〈実績等〉</p> <p>◎スポーツ振興事業・スポーツ教室事業数</p> <p>・H27: 12事業、H28: 11事業、H29: 9事業、H30: 10事業</p> <p>◎スポーツ振興事業・スポーツ大会事業の参加者数</p> <p>・H27: 296人、H28: 276人、H29: 257人、H30: 186人</p> <p>◎スポーツ振興事業・スポーツ大会事業数</p> <p>・H27: 5事業、H28: 5事業、H29: 4事業、H30: 4事業</p> <p>◎市民ラジオ体操会</p> <p>・H27: 168人、H28: 214人、H29: 282人、H30: 210人、R1: 172人</p> <p>◎市民スポーツ・健康フェスティバル</p> <p>・H27: 549人、H28: 577人、H29: 769人、H30: 677人、R1: 642人</p>
--

【スポーツ少年団等への支援】

スポーツ少年団本部に助成することにより、加盟団体の育成を図り、剣道・サッカー・野球・柔道などの少年団の活動を支援した。平成30年度の登録は、20団体、269人である。

<p>〈実績等〉</p> <p>◎加盟団体人数</p> <p>・H27: 314人、H28: 324人、H29: 301人、H30: 269人</p> <p>◎加盟単位団体数</p> <p>・H27: 21団体、H28: 21団体、H29: 21団体、H30: 20団体</p>

【ボランティア体験の実施】

登別市ボランティアセンターを中心に、ボランティア活動に興味のある市民(児童)を対象として、気軽に無理なく体験できるプログラムを関係機関・団体等の協力を得て実施した。

<p>〈実績等〉</p> <p>◎ボランティア体験参加人数</p> <p>・H27: 13人、H28: 12人、H29: 10人、H30: 6人、R1: 5人</p>

【少年の主張大会の開催】

市内の中学生(各代表2名)が、日常生活の体験や、日ごろ考えていることなどを発表した(胆振地区大会等への予選会を兼ねている)。

〈実績等〉

- ◎胆振地区大会参加人数
・H27:1人、H28:1人、H29:1人、H30:1人
- ◎発表者人数
・H27:12人、H28:12人、H29:12人、H30:12人

【高校生就職フォローアップ事業の実施】

進路選択を控えた高校生を対象に、登別市・室蘭市・伊達市の三市合同で、就業の適性把握や就職活動の心構えなどの就職応援講座を実施した。平成30年度の就職応援講座参加人数は87人である。

〈実績等〉

- ◎高校3年生向け就職応援講座参加人数(登別市)
・H27:24人、H28:45人、H29:47人、H30:52人
- ◎高校2年生向け就職応援講座参加人数(登別市)
・H27:19人、H28:29人、H29:50人、H30:35人
- ◎高卒就職状況の推移 就職希望者数(市内、3月末現在)
・H27:41人、H28:48人、H29:62人、H30:67人
- ◎高卒就職状況の推移 就職者数(市内、3月末現在)
・H27:41人、H28:48人、H29:60人、H30:67人
- ◎高卒就職状況の推移 就職達成率(市内、3月末現在)
・H27:100%、H28:100%、H29:97%、H30:100%
- ◎新規高等学校卒業者管内就職率
・H27:99.2%、H28:100.0%、H29:100.0%、H30:100.0%

【高校生インターンシップ事業の実施】

市内の高校生を対象に、地元企業の協力を得ながらインターンシップ事業(就業体験)を実施した。平成30年度の参加者数は124人である。

〈実績等〉

- ◎インターンシップ事業参加者数(一般企業)
・H27:96人、H28:61人、H29:89人、H30:86人
- ◎インターンシップ事業参加者数(看護体験)
・H27:18人、H28:19人、H29:34人、H30:38人
- ◎高卒就職状況の推移 就職希望者数(市内、3月末現在)
・H27:41人、H28:48人、H29:62人、H30:67人
- ◎高卒就職状況の推移 就職者数(市内、3月末現在)
・H27:41人、H28:48人、H29:60人、H30:67人
- ◎高卒就職状況の推移 就職達成率(市内、3月末現在)
・H27:100%、H28:100%、H29:97%、H30:100%
- ◎新規高等学校卒業者管内就職率
・H27:99.2%、H28:100.0%、H29:100.0%、H30:100.0%

②世代間交流の促進

【保育所世代間・異年齢交流事業の実施】

保育所において、世代間交流事業や地域交流事業を行い、ふれあいや思いやりのある心を育んだ。令和元年11月現在、5か所(全保育所)で実施している。

〈実績等〉

- ◎保育所世代間・異年齢交流事業の実施設
・H27:5箇所、H28:5箇所、H29:5箇所、H30:5箇所

【私立幼稚園異年齢・世代間交流事業の実施】

幼稚園児と地域の高齢者や児童等との交流を通して、ふれあいや思いやりのある心を育んだ。令和元年11月時点では市内すべての幼稚園及び認定こども園で実施している。

〈実績等〉

◎保育所世代間・異年齢交流事業の実施設
・H27:4箇所、H28:4箇所、H29:4箇所、H30:4箇所

【小学校世代間交流の促進】

異年齢層間でのコミュニケーションを活性化させるため、けん玉、お手玉やめんこなどの昔遊び体験を通じた交流の場としての世代間交流を促進した。平成30年度末現在、8か所(全小学校)で実施している。

〈実績等〉

◎世代間交流実施回数
・H27:8回、H28:7回、H29:8回、H30:8回

③子どもを取り巻く有害環境対策の推進

【社会を明るくする運動の推進】

青少年の非行防止や更生保護のために、メッセージ伝達式、啓発活動、地域住民との懇談会、社会を明るくする運動作文・標語募集、子ども育成者懇談会、公開ケース研究会等を実施した。

〈実績等〉

◎啓発活動等実施回数
・H27:7回、H28:7回、H29:7回、H30:7回
◎社会を明るくする運動参加者数
・H27:474人、H28:679人、H29:548人、H30:606人

【有害図書立ち入り調査の実施】

非行など問題行動の誘引となる有害図書について実態把握と業者等の自主的措置を促すため立ち入り調査を行った。

〈実績等〉

◎立入調査実施回数
・H27:1回、H28:1回、H29:1回、H30:1回

【青少年センター活動の実施】

青少年センターでは、青色回転パトロール車を活用して市内全域を巡回し、非行防止などの抑止に努めています。関係機関などとの連携強化を図るとともに、引き続き青少年の健全育成に努める。

〈実績等〉

◎通常巡回日数
・H27:435日、H28:417日、H29:371日、H30:400日
◎特別巡回日数
・H27:57日、H28:66日、H29:54日、H30:60日
◎児童生徒の街頭指導件数
・H27:153件、H28:110件、H29:119件、H30:64件

【健全育成関係団体等との連携】

市内小中高等学校合同生徒指導担当者連絡会議などを活用し、問題行動等の早期発見に努めた。また、学校・家庭・地域にこれまで以上に働きかけ、町内会や各中学校区健全育成団体などと協議・連携を図り、関係団体の裾野を広げ、子どもたちの健全育成に努める。

〈実績等〉

◎市内小中高等学校合同生徒指導担当者連絡会議参加回数
・H27:1回、H28:1回、H29:1回、H30:1回

4 安全な子育て環境の整備

基本目標	4 安全な子育て環境の整備
成果	子どもを安心して産み育てることができるよう、身近な公園やベビーカーでも利用しやすい道路屋施設の整備など、バリアフリーのまちづくりを進めた。また、交通事故や犯罪の被害に遭うことのない安心安全な地域づくりの取組を推進した。
体系図	<pre> graph TD A[4 安全な子育て環境の整備] --> B[(1)安全・安心なまちづくり] B --> C[①安全・安心なまちづくり] B --> D[②良質な住宅等の供給促進] </pre>

□主要施策に対する取組及び成果

(1)安全・安心なまちづくり

防犯灯の設置など道路環境の整備を進めた。
また、子どもの安全を確保するという視点から青色回転パトロール車により市内全域を巡回し、危険箇所をパトロールした。

□施策の方向に関する取組

(1)安全・安心なまちづくり

①安全・安心なまちづくり

【幅広い歩道や照明灯の整備】

子育て家族や高齢者などすべての市民が、安全で快適に生活できるよう、歩道などを含めた道路交通環境の整備に努めた。また、交差点や急カーブなどの交通安全対策のため、幹線道路等に照明灯を設置した。

〈実績等〉

【平成27年度】
照明灯設置 : 1基
【平成28年度】
照明灯設置 : 2基
【平成29年度】
照明灯設置 : 2基
歩道新設延長 : 10.4m
【平成30年度】
照明灯設置 : 2基
歩道新設延長 : 211.7m

【危険箇所の点検と危険防止】

危険箇所の点検、交通安全施設や水路における安全防護施設の整備や遊泳禁止場所での指導など、危険箇所の点検の強化と危険防止に努めた。【学校教育G・土木・公園G】
青色回転パトロール車により市内全域を巡回し、危険箇所をパトロールした。関係機関などとの連携強化を図り、引き続き青少年の健全育成に努めた。【社会教育G】

〈実績等〉

学校教育グループが主体の通学路合同点検に参加。【土木・公園G】
◎通常巡回回数【社会教育G】
・H27:436日、H28:417日、H29:371日、H30:400日
◎特別巡回回数【社会教育G】
・H27:57日、H28:66日、H29:54日、H30:60日
◎児童生徒の街頭指導件数【社会教育G】
・H27:163件、H28:110件、H29:119件、H30:64件
通学路の安全対策のため「登別市通学路安全推進協議会」を毎年開催し、危険箇所を現地調査するなど改善に向けた取組を推進している。【学校教育G】

【防犯灯の設置推進】

町内会などが地域の安全を確保するために設置・改修する防犯灯について支援をした。

〈実績等〉

- ◎補助金を交付した町内会の数
 - ・H27: 63町内会、H28: 59町内会、H29: 64町内会、H30: 57町内会
- ◎交付した補助金の額
 - ・H27: 13,556千円、H28: 13,593千円、H29: 14,777千円、H30: 12,444千円
- ◎防犯灯の総数
 - ・H27: 4,355基、H28: 4,353基、H29: 4,357基、H30: 4,368基
- ◎ナトリウム灯の設置数
 - ・H27: 134基、H28: 136基、H29: 44基、H30: 37基
- ◎水銀防犯灯の設置数
 - ・H27: 2,490基、H28: 2,164基、H29: 1,723基、H30: 1,349基
- ◎蛍光防犯灯の設置数
 - ・H27: 315基、H28: 177基、H29: 168基、H30: 128基
- ◎白熱防犯灯の設置数
 - ・H27: 26基、H28: 24基、H29: 35基、H30: 12基
- ◎省エネルギー型防犯灯の設置数
 - ・H27: 1,390基、H28: 1,852基、H29: 2,387基、H30: 2,842基
- ◎省エネルギー型防犯灯への改修数
 - ・H27: 427基、H28: 439基、H29: 476基、H30: 421基
- ◎防犯灯設置数(当該年度内の新設・改修・補修の数)
 - ・H27: 440基、H28: 448基、H29: 491基、H30: 443基
- ◎省エネルギー型防犯灯の設置率
 - ・H27: 31.9%、H28: 42.5%、H29: 54.7%、H30: 65.0%
- ◎省エネルギー型防犯灯普及率100%の町内会の数
 - ・H27: 7町内会、H28: 9町内会、H29: 20町内会、H30: 29町内会

【交通安全教育の推進】

(市民サービスG)

登別市交通安全協会と連携し、各種交通安全教育を開催実施した。

(こども育成G)

市民サービスグループが開催する交通安全教室に参加した。

〈実績等〉

- ・人と旗の波街頭啓発(各年5回、8か所で実施)
- ・こぐまクラブ交通安全教室(市内幼稚園・保育所対象:各年8か所で実施)※令和元年度においては今後実施予定
- ・新入学児童に対する交通安全啓発(年1回:市内小学校輪番制)

【主要通学路等における交通安全指導】

主要通学路等における交通安全指導員の立哨指導を行った。市民の交通安全意識を高め、交通事故が減少するよう各種啓発活動等を実施するとともに、交通安全協会及び交通安全指導員会の活動を支援していく。

〈実績等〉

- ・交通安全指導員の立哨指導(実施期間:各年4月～10月)
- ・人と旗の波街頭啓発(各年5回、8か所で実施)
- ・レッド駐留街頭啓発(各年:16回)
- ・こぐまクラブ交通安全教室(市内幼稚園・保育所対象:各年8か所で実施)※令和元年度においては今後実施予定
- ・新入学児童に対する交通安全啓発(年1回:市内小学校輪番制)

【防犯活動の推進】

「犯罪や事故・災害のない、明るく住みよい地域社会の実現」を目指して、室蘭登別防犯協会連合会や登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会と関係団体が連携しながら街頭犯罪等の防止や少年非行防止などを推進した。

〈実績等〉

【室蘭登別防犯協会連合会】

- ◎地域安全ニュースの発行回数
・H27: 12回、H28: 12回、H29: 12回、H30: 12回
- ◎目の不自由な方のための地域安全ニュース点訳及び録音テープ版の発行
・H27: 12回、H28: 12回、H29: 12回、H30: 12回
- ◎春の地域安全運動該当啓発の開催
・H27: 1回、H28: 1回、H29: 1回、H30: 1回
- ◎夏の暴力追放巡回啓発活動の開催
・H27: 1回、H28: 1回、H29: 1回、H30: 1回
- ◎定期総会の開催
・H27: 1回、H28: 1回、H29: 1回、H30: 1回
- ◎室蘭登別地域安全大会の開催
・H27: 1回、H28: 1回、H29: 1回、H30: 1回
- ◎全国地域安全運動街頭啓発の開催
・H27: 1回、H28: 1回、H29: 1回、H30: 1回
- ◎歳末特別警戒出動式の開催
・H27: 1回、H28: 1回、H29: 1回、H30: 1回
- ◎防犯教室の開催
・H27: 1回、H28: 1回、H29: 1回、H30: 1回
- ◎防犯活動に支出した金額
・H27: 892千円、H28: 825千円、H29: 804千円、H30: 836千円
- ◎登別市内の犯罪発生件数(年間)
・H27: 206件、H28: 226件、H29: 222件、H30: 188件

【登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会】

- ◎啓発旗の作成数
・H27: 400枚、H28: 410枚、H29: 410枚、H30: 460枚
- ◎市内全域に係る街頭啓発・パトロール実施回数
・H27: 3回、H28: 3回、H29: 3回、H30: 3回
- ◎啓発旗配布先連合町内会数
・H27: 11地区、H28: 11地区、H29: 11地区、H30: 11地区
- ◎手づくり祭りテント出展数(姉妹都市・工学院を除く)
・H27: 54張、H28: 51張、H29: 48張、H30: 44張
- ◎啓発看板修理数
・H27: 0件、H28: 0件、H29: 2件、H30: 2件
- ◎啓発広告掲載数
・H27: 2件、H28: 2件、H29: 2件、H30: 2件
- ◎札幌方面地方暴力追放運動推進協議会定期総会出席人数
・H27: 2人、H28: 2人、H29: 2人、H30: 2人
- ◎北海道暴力団追放道民大会参加人数
・H27: 1人、H28: 1人、H29: 2人、H30: 2人
- ◎暴力団による被害の相談件数
・H27: 0件、H28: 0件、H29: 0件、H30: 0件

【子ども110番スタディちゃんの家設置推進】

子どもが犯罪等に遭ったときの緊急避難場所「子ども110番スタディちゃんの家」設置を、地域住民等と連携して推進するとともに、設置箇所の拡充を図った。平成30年度末の設置箇所は、444か所である。

〈実績等〉

- ◎子ども110番スタディちゃんの家登録者数
・H27: 472件、H28: 462、H29: 459件、H30: 444件

【登下校時の児童・生徒の安全確保】

学校や地域のボランティア・保護者等が協力して、登下校時等の見守りや巡回等を行い、児童の安全を確保した。学校・地域や中学校区で実施している見守り隊などの団体とこれまで以上に連携を密にし、児童の安全確保に努める。

〈実績等〉

◎通常巡回日数

・H27:435日、H28:417日、H29:371日、H30:400日

◎特別巡回日数

・H27:57日、H28:66日、H29:54日、H30:60日

②良質な住宅等の供給促進

【良質な住宅の確保】

市営住宅の建替、改修時において、子育て家庭や高齢者などの入居者が安心して生活できる良質な住宅の供給を図った。

〈実績等〉

H27年度 基本設計(H28年度へ一部繰越明許)

地歴調査

H28年度 土壌汚染状況調査

H29年度 実施設計(1号棟56戸)

既存住棟除却(5棟20戸)

H30年度・R1年度 1号棟第1期建設工事(32戸)

【子育てに配慮した環境整備】

(こども育成G)

公共施設等において、ベビーベッドやオムツの交換場所など、子育て世帯が安心して利用できる設備の整備に努めた。

平成27年度には、図書館及び総合福祉センターにあかちゃんルームを設置した。

令和元年に実施したニーズ調査の結果を踏まえて、よりニーズの高い事業を実施するため、令和元年度をもって本事業を廃止する。

〈実績等〉

◎公共施設へのあかちゃんルームの設置箇所数

・H27:2箇所、H28:2箇所、H29:2箇所、H30:2箇所

【公共施設のバリアフリー化】

公共施設は、子育て家庭や高齢者など全ての市民が利用しやすい環境をつくるため、バリアフリー化に努める必要があるが、計画期間中においては新規のバリアフリー化事業はなかった。

5 仕事と生活の調和の促進

基本目標	5 仕事と生活の調和の促進
成果	すべての子育て家庭において、仕事と家庭生活のバランスの取れた多様な働き方を選択できるよう、仕事と子育ての両立を支援するための各種子育て支援サービスの充実に努めた。また、働く人々の権利である育児休業制度等の関連制度等の情報提供により意識啓発に取り組んだ。
体系図	<pre> graph TD A[5 仕事と生活の調和の促進] --> B[(1) 仕事と子育ての両立の支援] B --> C[① 働き方の見直しの啓発] B --> D[② 女性の再就職の支援] </pre>

□主要施策に対する取組及び成果

(1) 仕事と子育ての両立の支援

子育て支援センターにおいて、子育て中の父親同士の情報交換や交流の場を提供し父親の子育て力の向上を促した。
 出産や育児により退職した女性の再就職の支援や若者の就職支援のため、ハローワークとの連携により情報提供に努めた。

□施策の方向に関する取組

(1) 仕事と子育ての両立の支援

①働き方の見直しの啓発

【仕事と生活の調和の実現のための働き方の見直し】

〈こども育成G〉

男女がともに、仕事、家庭生活、地域生活など様々な活動について自らが希望するバランスで展開することを支援するため、家庭での保育が困難な世帯を対象に保育所での保育を実施したほか、ファミリー・サポート・センターを設置し、仕事と家庭の両立を支援した。

【お父さんの子育て広場の開催】

子育て中の父親が子どもと楽しく遊びながら、父親同士の情報交換や交流の場を提供し、父親の子育て力の向上を促しました。

平成27年度は1か所で実施、平成28年度からは2か所で実施した。

月1回、土曜日に中央子育て支援センター・登別子育て支援センターのいずれかにおいて、「お父さんと遊ぼう」実施した。

・中央子育て支援センター 奇数月に1回(土曜日)

・登別子育て支援センター 偶数月に1回(土曜日)

利用利便性の向上を図るため、日曜日の開催希望があるか確認したところ、そのニーズはなかったことから、令和元年度については現行どおり開催する。今後、夫婦で子育て相談ができる場の提供など、お父さんが参加しやすい事業内容を検討する。

〈実績等〉

◎父親開放利用者延人数(中央子育て支援センター)

・H27: -人、H28: 87人、H29: 89人、H30: 59人

◎父親開放利用者延人数(登別子育て支援センター)

・H27: 103人、H28: 86人、H29: 109人、H30: 68人

【男女共同参画の推進】

登別市男女共同参画基本計画に基づき、女性と男性がお互いを尊重し、それぞれの個性と能力を発揮して共に支えあう、男女共同参画社会の形成を図ることを目指し、講演会や学習会を開催するとともに、広報紙やアンダント等による啓発を推進した。

〈実績等〉

◎フォーラム(懇話会・プラタナス含む)、出前講座参加者人数

・H27: 209人、H28: 123人、H29: 225人、H30: 143人

【女性への暴力や権利侵害等の防止】

配偶者やパートナーからの暴力や様々な問題を抱える方に対する支援体制の充実や相談窓口の周知を図るとともに、警察や民間シェルターなど関係機関との連携の強化を図った。

〈実績等〉

- ◎警察・胆振配偶者暴力相談支援センター・民間シェルターへの同行支援
- ・H27:3人、H28:3人、H29:4人、H30:10人

②女性の再就業の支援

【女性の再就業に関する情報の提供】

出産や育児、介護により退職した女性の再就業などを支援するため、公共職業安定所(ハローワーク)やその他職業紹介事業者等の関係機関と連携を図りながら、必要な情報の提供に努めた。

〈実績等〉

- ◎地域職業相談室の活動等の状況
- ・H27:723人、H28:766人、H29:717人、H30:637人
- ◎相談件数
- ・H27:3,148件、H28:3,562件、H29:3,175件、H30:2,905件
- ◎紹介件数
- ・H27:1,676件、H28:1,807件、H29:1,417件、H30:1,257件
- ◎地域職業相談室来室者数
- ・H27:11,659人、H28:11,240人、H29:9,906人、H30:8,674人
- ◎就職件数
- ・H27:565件、H28:645件、H29:555件、H30:456件
- 【若年者等キャリアカウンセリング事業の活動等の状況】
- ◎就業支援セミナー開催回数
- ・H27:6回、H28:6回、H29:6回、H30:6回
- ◎就職支援セミナー総参加人数
- ・H27:7人、H28:8人、H29:6人、H30:2人
- ◎個別相談(面接)人数
- ・H27:189人、H28:132人、H29:171人、H30:180人
- ◎個別相談(面接)件数(延べ)
- ・H27:204件、H28:134件、H29:184件、H30:202件
- ◎婦人センターの活動等の状況
- ・H27:2回、H28:2回、H29:3回、H30:2回
- ◎婦人センター講座参加者数
- ・H27:28人、H28:20人、H29:44人、H30:12人

【起業家を目指す女性への支援】

創業に関するセミナーや国による支援施策などの情報を提供するほか、補助制度などによる支援を行った。

〈実績等〉

【中小企業特別融資の活動等状況】

◎新規融資件数

・H27: 4件、H28: 0件、H29: 3件、H30: 0件

◎新規融資額

・H27: 6,656千円、H28: 0千円、H29: 10,342千円、H30: 0千円

◎年度末融資件数(一般)

・H27: 12件、H28: 9件、H29: 9件、H30: 9件

◎年度末融資残高(一般)

・H27: 61,164千円、H28: 45,269千円、H29: 40,965千円、H30: 32,457千円

◎年度末融資件数(小口)

・H27: 9件、H28: 8件、H29: 5件、H30: 3件

◎年度末融資残高(小口)

・H27: 10,319千円、H28: 6,155千円、H29: 8,746千円、H30: 5,060千円

◎新規融資申請件数(当該件数)

・H27: 4件、H28: 0件、H29: 3件、H30: -件

【創業支援事業の活動等状況】

◎空き店舗活用事業助成金(新規)

・H27: 8件、H28: 5件、H29: 4件、H30: 7件

◎事業所開設費補助金補助対象経費総額

・H27: 4,683千円、H28: 2,120千円、H29: 4,635千円、H30: 14,640千円

◎創業スクール開催数

・H27: -回、H28: -回、H29: 10回、H30: 10回

◎創業スクール開催参加人数

・H27: -人、H28: -人、H29: 17人、H30: 15人

◎空き店舗活用事業補助金活用件数

・H27: 10件、H28: 13件、H29: 9件、H30: 11件

◎事業所開設費補助金活用件数

・H27: 10件、H28: 5件、H29: 4件、H30: 8件

※中小企業等特別融資については、平成30年度より新規貸し付けを休止

6 障がい児、要保護児童等へのきめ細かな取り組みの推進

基本目標	6 障がい児、要保護児童等へのきめ細かな取り組みの推進
成果	より細やかな支援が必要な子どもとその保護者が安心して生活できるよう、障がいのある子どもに対する福祉サービスなどと連携を図った。また、地域の関係機関の体制強化を図り、児童虐待の発生予防や早期発揮園、その後の保護・支援対策等の充実に努めた。
体系図	<pre> graph LR A[6 障がい児、要保護児童等へのきめ細かな取り組みの推進] --> B1["(1) 児童虐待防止対策の充実"] A --> B2["(2) ひとり親家庭の自立支援"] A --> B3["(3) 障がい児施策の充実"] B1 --> C1["① 児童虐待防止ネットワークの充実"] B2 --> C2["① 母子家庭等の自立のための支援"] B3 --> C3["① 早期発見と療育・教育の充実"] B3 --> C4["② 障がい児へのサービスの充実"] </pre>

□主要施策に対する取組及び成果

(1) 児童虐待防止対策の充実(2)ひとり親家庭の自立支援(3)障がい児施策の充実

関係機関との連携により要保護児童対策地域協議会を開催し、適切な対処と支援を行った。
児童虐待に対する理解を深めるため広報誌に児童虐待の特集記事を掲載し、リーフレットの配布やポスターの掲示を行い虐待防止について啓発活動を行った。
平成30年度より新たに鷲別小学校に通級指導教室を開設し、支援体制を充実させた。

□施策の方向に関する取組

(1) 児童虐待防止対策の充実

① 児童虐待防止ネットワークの充実

【児童虐待の予防、早期発見】

乳幼児健診等の機会を活用しながら、子育て支援センターや保育所・幼稚園・学校・民生委員・児童委員等の関係機関と連携し、要保護児童、虐待が危惧される家庭の把握と適切な支援に努めた。また、児童虐待に対する理解を深めるため、関係団体・関係機関への児童虐待防止マニュアルの配布やセミナーの開催等により、地域全体で虐待の予防、早期発見に努めた。

〈実績等〉

市民一人ひとりが子ども虐待防止に意識を向けるよう啓発活動を行った。

【事業実績】

◎新聞による児童虐待防止キャンペーンの実施

・H27～H30:1回(11月) R1は広報紙へのリーフレット折込へ差替えのため実施なし。

◎ホームページによる児童虐待防止キャンペーンの実施

・H27～R1:1回(11月)

◎広報紙による児童虐待防止キャンペーンの実施

・H27～R1:1回(11月)

・H30、R1の広報11月号に、児童虐待の特集記事を掲載。

◎児童虐待防止啓発ポスターの掲示

・H27～R1:1回(11月) 市内関係機関へ配布し掲示を依頼。

◎児童虐待防止啓発リーフレット等の配布

・H27～R1:1回(11月) 市内関係機関へ配布。

・R1については、広報紙11月号へリーフレットの折込を行い、市民への配布を実施。

◎児童虐待防止啓発ポケットティッシュ等の配布(随時)

◎各町内会回覧板による児童虐待防止啓発(11月実施)

◎各種研修へ参加することによる児童虐待予防に関する知識の習得(随時)

◎勉強会・講演会の開催

・H27～H28、H30～R1で各年1回、職員向け勉強会実施。

【児童虐待への適切な対応】

関係機関の連携によって虐待の早期発見に努め、事案が発生した際は要保護児童対策地域協議会を速やかに開催し、適切に対応した。

〈実績等〉

- ◎要保護児童対策地域協議会代表者会議
 - ・平成27年度～令和元年度 年1回開催(5月)
- ◎要保護児童対策地域協議会実務者会議
 - ・平成27年度～令和元年度 年2回開催(10月、3月)
- ◎要保護児童対策地域協議会個別ケース会議
 - ・平成27年度 16回開催
 - ・平成28年度 15回開催
 - ・平成29年度 15回開催
 - ・平成30年度 18回開催
 - ・令和元年度 15回開催(10/31時点)

【家庭相談員・児童虐待相談員の活用】

家庭における適切な児童養育その他家庭児童福祉の向上を図るため、子どもの問題で困ったり、悩んでいる人の相談に応じ、必要な助言・指導を行った。

〈実績等〉

- ◎母子・父子自立支援員相談指導回数
 - ・H27:190件、H28:189件、H29:94件、H30:190件
- ◎要保護児童対策地域協議会新規受理児童数
 - ・H27:35人、H28:23人、H29:20人、H30:10人

【子どもの権利の啓発】

児童福祉週間(5月5日～11日)にあわせ、子どもの権利について広報のぼりべつやパンフレット等で啓発することとしていたが、実施しなかった。

【里親制度の活用推進】

里親制度は要保護児童を家庭的環境の中で養育する最も望ましい養育形態で、当市の要保護児童対策の中で重要な役割を担っている。今後も里親制度の活用を図ることにより、児童福祉の向上に努める。令和元年度の会員数は4世帯7人である。

〈実績等〉

胆振、日高管内の里親で組織される里親会の運営に対し補助した。

【主な事業実績(平成27年度～令和元年度)】

- ・役員会、総会(5月)
- ・日胆はまなす里親会研修会・交流会(9月)
- ・全国里親会北海道地区里親研修大会(9月)
- ・全国里親会全国大会(10月)
- ・里子プレゼント事業(12月)
- ・広報誌はまなす発行(4月予定)

(2)ひとり親家庭の自立支援

①母子家庭等の自立のための支援

【母子自立支援員】

ひとり親家庭等に対し、生活等の相談に応じ、経済・教育などの諸問題の解決を支援するとともに、その自立に必要な指導を行った。

〈実績等〉

- ◎家庭児童相談室 相談員数
 - ・H27:1人、H28:1人、H29:1人、H30:1人
- ◎相談件数(生活一般)(就労)(求職・転職)
 - ・H27:3件、H28:1件、H29:0件、H30:11件
- ◎相談件数(生活一般)(就労)(資格取得・職業訓練)
 - ・H27:11件、H28:6件、H29:8件、H30:9件
- ◎相談件数(生活一般)(結婚)
 - ・H27:1件、H28:0件、H29:1件、H30:0件
- ◎相談件数(生活一般)(養育費)
 - ・H27:0件、H28:3件、H29:0件、H30:15件
- ◎相談件数(児童)(保育所入所)
 - ・H27:6件、H28:2件、H29:1件、H30:9件
- ◎相談件数(経済的支援・生活援護)(母子・父子福祉資金貸付金)(貸付)
 - ・H27:24件、H28:35件、H29:17件、H30:16件
- ◎相談件数(経済的支援・生活援護)(母子・父子福祉資金貸付金)(償還)
 - ・H27:4件、H28:2件、H29:1件、H30:2件
- ◎相談件数(経済的支援・生活援護)(児童扶養手当)
 - ・H27:58件、H28:55件、H29:33件、H30:51件

【児童扶養手当の支給】

児童扶養手当法に基づく手当を支給し、ひとり親家庭等の生活の安定と自立を促進した。

〈実績等〉

- ◎児童扶養手当現況届発送件数(当初)
 - ・H27:657件、H28:608件、H29:586件、H30:568件
- ◎児童扶養手当全部支給者(母)支出延べ月人数
 - ・H27:3,850件、H28:3,420件、H29:3,191件、H30:3,197件
- ◎児童扶養手当一部支給者(母)支出延べ月人数
 - ・H27:2,909件、H28:2,985件、H29:2,890件、H30:2,851件
- ◎児童扶養手当全部支給者(父)支出延べ月人数
 - ・H27:77件、H28:98件、H29:110件、H30:98件
- ◎児童扶養手当一部支給者(父)支出延べ月人数
 - ・H27:312件、H28:281件、H29:260件、H30:189件
- ◎児童扶養手当全部支給者(養育者)支出延べ月人数
 - ・H27:12件、H28:20件、H29:36件、H30:36件
- ◎児童扶養手当一部支給者(養育者)支出延べ月人数
 - ・H27:24件、H28:48件、H29:18件、H30:0件
- ◎児童扶養手当現況届 未提出者数(時効成立件数)
 - ・H27:7件、H28:4件、H29:1件、H30:1件

【自立支援教育訓練給付事業の実施】

ひとり親の職業能力開発を促進するため「指導講座」を受講し、資格等の取得を行う者に対して、教育訓練終了後、自立支援教育訓練給付金を支給した。

〈実績等〉

- ◎受給者1人あたりの平均年間給付金額
・H27:0千円、H28:0千円、H29:13千円、H30:0千円
- ◎受給者の平均年齢
・H27:-歳、H28:-歳、H29:43歳、H30:-歳
- ◎受給者世帯の平均児童数
・H27:0.0%、H28:0.0%、H29:100.0%、H30:0.0%
- ◎窓口における制度等説明件数
・H27:0件、H28:2件、H29:1件、H30:1件
- ◎児童扶養手当年度更新時用の制度周知用チラシ配布数
・H27:657枚、H28:608枚、H29:586枚、H30:568枚

【高等職業訓練促進給付事業の実施】

ひとり親の経済的自立に向け、資格を取得するための養成機関で修業の期間中の生活の安定のため、高等職業訓練促進給付金を支給した。

〈実績等〉

- ◎受給者1人あたりの平均年間給付金額
・H27:0千円、H28:0千円、H29:1,200千円、H30:1,216千円
- ◎受給者の平均年齢
・H27:-歳、H28:-歳、H29:37歳、H30:39歳
- ◎受給者世帯の平均児童数
・H27:0人、H28:0人、H29:1人、H30:1人
- ◎受給者における女性の割合
・H27:0.0%、H28:0.0%、H29:100.0%、H30:100.0%
- ◎窓口における制度等説明件数
・H27:8件、H28:2件、H29:5件、H30:1件
- ◎児童扶養手当年度更新時用の制度周知用チラシ配布数
・H27:657枚、H28:608枚、H29:586枚、H30:568枚

【入院助産事業の実施】

保健上必要があるにもかかわらず、経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入院させ助産を受けることができるよう事業を行ったが、利用者はいなかった。

〈実績等〉

- ◎窓口における制度等説明件数
・H27:0人、H28:0人、H29:0人、H30:0人
- ◎本事業に関しての市民等からの問い合わせ件数
・H27:0件、H28:0件、H29:0件、H30:0件

【ひとり親家庭等医療費の助成】

ひとり親家庭等の児童とその親の医療費の自己負担の一部を助成した。

〈実績等〉

- ◎医療助成額
・H27:18,525千円、H28:19,095千円、H29:17,302千円、H30:15,886千円
- ◎月平均受給者数
・H27:1,548人、H28:1,491人、H29:1,421人、H30:1,390人

(3)障がい児施策の充実

①早期発見と療育・教育の充実

【障がい児等の療育体制の充実】

障がい等の早期発見、早期療育等を関係者の密接な連携のもとに、総合的かつ効果的に推進するため、登別市障害者地域自立支援協議会に「こども部会」を設置するとともに、専門的分野を検討するための担当者連絡会議を開催するなどし、障がい児等の療育体制の充実に努めた。

〈実績等〉

【特別支援教育の充実】

一人ひとりの教育ニーズに応じた適切な指導や必要な支援の充実を図るため、各学校に校内委員会を設置するとともに、保護者への相談窓口、担任教諭への支援、校内委員会の運営や推進などをすすめる特別支援教育コーディネーターを指名し、校内体制の整備と教育相談の充実に努めた。また、室蘭養護学校及び室蘭聾学校の特別支援学校コーディネーターや胆振教育局等と連携し、特別支援教育体制整備に努める。

〈実績等〉

- ◎巡回教育相談児童数
・H27:5人、H28:5人、H29:-人、H30:-人
- ◎パートナーティーチャー派遣事業対象児童生徒数
・H27:-人、H28:-人、H29:27人、H30:26人

【ことばの教室の拡充】

ことばの障がいなどがある子どもたちに必要な教育を行うため、幌別小学校に通級指導教室を開設し、幼児・小学生を指導した。
平成30年度より新たに鷲別小学校に通級指導教室を開設した。

〈実績等〉

- ◎幼児部通級人数
・H27:44人、H28:42人、H29:41人、H30:52人

②障がい児へのサービスの充実

【児童発達支援・放課後等デイサービスの充実】

平成26年度から民間委託したのぞみ園については、利用する児童に幅広く対応できるよう、臨床心理士や理学療法士、言語聴覚士など専門職の配置に努め、療育機能及び療育内容の更なる質の向上を図った。
なお、新たに、平成28年度から保育所等訪問支援を、令和元年度から障害児相談支援を実施している。

〈実績等〉

- ◎のぞみ園通所児童利用数(延)
・H27:2,761人、H28:2,957人、H29:3,011人、H30:2,828人
- ◎のぞみ園在籍児童数
・H27:148人、H28:155人、H29:157人、H30:158人

【障がい児入浴サービス事業の実施】

自宅の浴室での入浴が困難な障がい児(肢体不自由児)に、入浴サービスを行った。

〈実績等〉

- ◎利用人数
・H27:2人、H28:2人、H29:2人、H30:2人

【障がい児保育の充実】

3歳以上で心身に障がいのある児童や発育・発達に心配のある児童で、集団保育が可能な児童を受け入れ、児童の健全な成長、発達を促すとともに、障がい児保育の充実に努めた。

〈実績等〉

◎4月1日時点障害児保育入所児童数

・H27:33人、H28:29人、H29:43人、H30:45人

【放課後児童クラブの支援体制の充実】

障がいのある児童や虐待への対応など特に配慮を要する児童の利用希望に対応するため、必要に応じて補助員を加配し、支援体制の充実に努めた。

〈実績等〉

◎補助員の配置人数

・H27:0人、H28:6人、H29:6人、H30:6人

【手当や医療費の給付による支援】

特別児童扶養手当、障害児福祉手当、重度心身障害児介護手当等の手当や重度心身障害者医療費助成、育成医療等の給付により、児童の家庭を支援し児童の福祉の増進を図った。

〈実績等〉

◎重度心身障害児介護手当支給対象者数

・H27:68人、H28:63人、H29:58人、H30:63人

◎障害児福祉手当受給者数

・H27:43人、H28:38人、H29:33人、H30:33人

◎育成医療支給実人数

・H27:17人、H28:17人、H29:20人、H30:24人

【重度心身障害者医療費助成分】

◎医療助成額

・H27:112,304千円、H28:106,277千円、H29:103,543千円、H30:93,036千円

◎月平均受給者数

・H27:1,179人、H28:1,158人、H29:1,127人、H30:1,124人

質問書

「登別市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」について不明な点等ございましたら、下記の記入欄にご記入の上令和元年12月13日(金)までに提出くださいますようお願いいたします。

【記入欄】

【問い合わせ先】

〒059-8701

登別市中央町6丁目11番地

登別市保健福祉部こども育成グループ

Tel: 0143-85-5634(直通)

Fax: 0143-85-1108